

16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 [6.2.1~4]	※普通コンクリート 表 6.2.1 設計基準強度 F _c (N/mm ²) 容積質量 (t/m ³) スラブ (cm) 適用場所 ・2.1 ※2.4 ・1.8 2.3程度 ※1.5 ・1.8 ※1.5 ・1.8 ○基礎 ・基礎梁 ○土間スラブ ・土間コンクリート			
	17	コンクリートの構造体強度補正等の適用期間	工事場所 打ち込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲 (普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種) 暑中コンクリートの適用期間 寒中コンクリートの適用期間 8℃以上 0℃以上8℃未満 25℃超 構造体強度補正値(S)(N/mm ²) 構造体強度補正値(S)(N/mm ²) 3 6 6 岡山市(旧市域) 2月26日~11月22日 11月23日~2月25日 7月2日~9月10日 1月21日~1月31日		
		セメント [6.3.1]	表 6.3.1 セメントの種類 使用部位 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種(G)、シリアセメントA種又はフライアッシュセメントA種(D) ・高炉セメントB種(D) ・フライアッシュセメントB種(D) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く		
			骨材の種類 [6.3.1][6.5.4]	アルカリシリカ反応による区分 ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量 R t = 3.0 kg/m ³ 以下)	
		20	混和材料 [6.3.1]	※混和剤 (JIS A6204に適合するA E剤、A E減水剤又は高性能A E減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。また、防錆剤を併用する場合はJIS A6205による防錆剤とする。) ・混和材 (JIS A6201に適合するフライアッシュのI種、II種、若しくはIV種、JIS A6206による高炉スラグ微粉材、JIS A6207によるシリカフューム又はJIS A6202による膨張材とする。)	
	21	コンクリート強度試験	※構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度試験及び構造体コンクリートの材齢28日を超過91日以内の圧縮強度試験は公的機関において行う。		
	4	1	一般事項 [4.2.1]	材料のホルムアルデヒド放散量 ※木造標準仕様書4.2.1(2)による	
			2	製材 [4.2.2]	製材 ・JAS 1083-3に基づく目視等級区分構造用製材(G) 施工箇所 樹種 構造材の種類 等級 寸法(mm) 含水率(%) 保存処理 ・構造材I ・構造材II ・乙種 ・1級 ・2級 ・3級 ・15・20 ・JAS 1083-4に基づく機械等級区分構造用製材(G) 施工箇所 樹種 等級(曲げ性能) 寸法(mm) 含水率(%) 保存処理 ・15・20 ・JAS 1083-6に基づく広葉樹製材(G) 施工箇所 樹種 等級 寸法(mm) 含水率(%) 保存処理 ・特級 ・1級 ・2級 ・10・13 ・加工前にJAS 1052付属書B[縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材(対象部材) ・無等級材(G) 施工箇所 樹種 寸法(mm) 含水率(%) 保存処理 材面の品質 ・JAS 1083-4 機械等級区分構造用製材による
		鋼材 [4.2.5]	3	鋼材の表面処理 [4.2.6]	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
				鋼材	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
			鋼材	鋼材の表面処理 [4.2.6]	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
				鋼材	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
				鋼材	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
				鋼材	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
				鋼材	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
				鋼材	・鋼材の亜鉛めっき 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 規格等 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種

5 接合金物 [4.2.7]

6 接合具等 [4.2.7]

・鉄鋼面の錆止め塗料塗り 施工箇所 錆止め塗料の種類 錆止め塗料塗りの種類 ・A種 ・B種
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗り 施工箇所 錆止め塗料の種類 錆止め塗料塗りの種類 ・A種 ・B種
○Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 種類 規格 短期許容耐力(kN) その他 ・火打金物 使用環境2 ○筋かいプレート Z.D.マーク同等以上 使用環境2 ○引き寄せ金物 Z.D.マーク同等以上 使用環境2 ○差受け金物 Z.D.マーク同等以上 使用環境2 注) Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 材料の種類 形状・寸法(mm) 備考 ○釘 (JIS A 5508) 種類 材質 その他 ○鉄丸くぎ 表面処理された鉄製 ○太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄製 ○ステンレス鋼くぎ ステンレス製 ・木ねじ (JIS B 1112、JIS B 1125、JIS B 1135)、その他の木ねじ 種類 材質 その他 ・十字穴付木ねじ 表面処理された鉄製又はステンレス製 JIS B 1112 ・ドリリングタップ木ねじ 表面処理された鉄製又はステンレス製 JIS B 1125 ・すわり付き木ねじ 表面処理された鉄製又はステンレス製 JIS B 1135 ・木質構造用ねじ (JIS A 5559) 種類 性能 表面処理 その他 ※鉄製 ・ステンレス製 ボルト及びナット ○Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 (・Zマーク ○Z.D.S) 性能 図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材料等 ※木造標準仕様書表4.2.2による 寸法 図示による アンカーボルト ○Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 (・Zマーク ○Z.D.S) 性能 図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材質 図示による 産金 ○Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 (・Zマーク ○Z.D.S) 性能 図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 種類 引張り応力を受けるボルトの産金 木造標準仕様書表4.2.3 () 種類 セン断力を受けるボルトの産金 木造標準仕様書表4.2.4 () ラグスクリー ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 (・Zマーク) 性能 図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材質 木造標準仕様書表4.2.2による 寸法・形状等 図示による ドリフトピン ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 (・Zマーク) 性能 図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材質 ※SS400 (JIS G 3101) 形状等 ※丸鋼 (JIS G 3191) 径・寸法等 図示による 木柱及び木だば ・樹種 () ・形状・長さ等 () ・図示による () 接着剤 ・床鳴り防止接着剤 (JIS A 5550) による ・接着剤の種類 () ・接着剤による接合又は接着剤を併用した接合 ・接着剤の種類 () ジェル接合 ・軸型ジェル () 材質 () 形状・寸法等 () ・図示による () ・圧入型ジェル () 材質 () 形状・寸法等 () ・図示による ()

工事名	十日市公園トイレ改築工事			N.○
図面名	木造建築工事特記仕様書2			A-02
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年4月	○	○	A-19
課長	課長補佐	係長	課員	担当者
				承認
				検印
				製印

7	防蟻・防蟻処理 [4.3.1]	・工場における薬剤の加圧注入等 ・木造標準仕様書4.3.1(1)(7)(b)に基づく加圧注入									
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用部材 (部位)</th> <th colspan="3">薬剤の加圧注入等</th> </tr> <tr> <td>・K2</td> <td>・K3</td> <td>・K4</td> <td>・AQ1</td> <td>・AQ2</td> <td>・AQ3</td> </tr> </table>	適用部材 (部位)		薬剤の加圧注入等			・K2	・K3	・K4	・AQ1
適用部材 (部位)		薬剤の加圧注入等									
・K2	・K3	・K4	・AQ1	・AQ2	・AQ3						
8	防蟻措置 [4.3.4]	・木造標準仕様書4.3.1(1)(7)(b)に基づく加圧式保存処理 保存処理の性能 () インサイジング ・適用する ・適用しない									
		<p>・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 薬剤の種類 ※木造標準仕様書4.3.1(f)(a) ・附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による</p> <p>適用部材 (部位) ・図示による ・6L+1.0m以内</p> <p>処理の方法 ※木造標準仕様書4.3.1(f)(b)による</p> <p>・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部材 (部位) ・図示による</p> <p>・合板、集成材、単板積層材の加圧注入等による防蟻・防蟻処理 保存処理の性能区分 ※K3又はAQ2 適用部材 (部位) ・図示による</p> <p>・防蟻性能のある断熱材 使用 () 適用部材 (部位) ・図示による</p> <p>・地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理 木造標準仕様書4.3.2(7)による 配筋 ・図示による 木造標準仕様書4.3.2(7)による 配筋 ・図示による</p> <p>・土壌の防蟻処理 使用する薬剤 () 処理方法及び使用量 帯状散布 (帯状の幅: 約 cm) 液剤: 処理長さ L/m 粒剤: () 面状散布 液剤: 処理長さ L/m² 粒剤: ()</p> <p>床下換気 基礎外周部の換気孔 ・木造標準仕様書4.3.4(2)(a)①による ねこ土台 ※防風スクリーン又は防虫網付き ・木造標準仕様書4.3.4(2)(1)②による 換気孔 ※防風スクリーン又は防虫網付き</p> <p>小屋裏換気 ・木造標準仕様書 4.3.4(3)による ・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e) 換気孔の大きさ ・図示による</p>									
9	防耐火処理等 [4.4.1~4]	・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法									
		<p>防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による</p> <p>防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による</p> <p>燃えしる層の工法 ・燃えしる層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合金物にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしる層への二次部材の取付け ・設備配管等が燃えしる層を貫通する場合の処理 ・図示による ・燃えしる層に取り付ける建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による</p> <p>不燃処理木材等 ・図示による</p> <p>木材と鋼材の接合部分 ・図示による</p>									
10	鋼材等の接合 [4.5.1]										

5	軸組構法 (壁構造系) 工事 / 軸組構法 (軸組構造系) 工事	1 現寸図 [5.4.2] [6.4.2]	・床書き現寸図を作成する															
		2 仕口及び継手の工法 [5.4.5] [6.4.5]	・仕口及び継手の工法 ※図示															
6	基礎天端及び柱均しモルタル仕上げ [5.5.4] [6.5.4]	3 孔あけ加工 [5.4.6] [6.4.6]	ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ ※木造標準仕様書5.4.2による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示															
		4 表面仕上げ [5.4.7] [8.12.2] [6.4.7]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材 (部位) () ・超自動機械かんな掛け仕上げ 適用部材 (部位) () ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) () 手加工 ・															
7	アンカーボルトの設置等 [5.5.3] [6.5.3]	5 アンカーボルトの設置等 [5.5.3] [6.5.3]	埋込み深さ ・図示 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示															
		6 基礎天端及び柱均しモルタル仕上げ [5.5.4] [6.5.4]	材料 ・木造標準仕様書5.5.4(イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示 ・柱底均しモルタルの工法 種別 ・A種 ※B種															
8	丸太組構法工事	7 建方精度 [5.5.7] [6.5.7]	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※1/1000以下 ・図示 (水平、垂直の誤差の範囲)															
		8 接合金物の工法 [5.5.9] [6.5.9]	接合金物が面材の取付けに必要な場合の木材への彫り込み ※行わない 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法 ・図示による															
9	釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [5.5.8, 5.5.10] [6.5.8, 6.5.10]	9 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [5.5.8, 5.5.10] [6.5.8, 6.5.10]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじ 種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し															
		10 各種ボルトの工法 [5.5.11] [6.5.11]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による															
11	ラグスクリューの工法 [5.5.12] [6.5.12]	11 ラグスクリューの工法 [5.5.12] [6.5.12]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法 ・図示による															
		12 ドリフトピンの工法 [5.5.13] [6.5.13]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法 ・図示による															
14	火打土台 [5.6.2] [6.6.2]	13 火打土台 [5.6.2] [6.6.2]	・木製の火打土台 見付け平使いとした場合 土台との仕口の形状 ・図示による 留付け釘の種類 ・図示による 留付け方法 ・図示による ・鋼製の火打土台 ・図示による															
		14 火打土台 [5.6.2] [6.6.2]	小屋根 ・木製の火打土台 ・鋼製の火打土台 床組 ・木製の火打土台 ・鋼製の火打土台															
15	床束 [5.8.2] [6.8.2]	15 床束 [5.8.2] [6.8.2]	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束				
			床荷重条件	性能	仕様	設置方法												
・鋼製床束																		
・樹脂製床束																		
7	枠組壁工法工事	1 アンカーボルトの設置等 [7.5.3]	埋込み深さ ・図示 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示															
8	基礎天端均しモルタルの仕上げ [7.5.4]	2 基礎天端均しモルタルの仕上げ [7.5.4]	材料 ・木造標準仕様書7.5.4(イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm															
		3 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [7.5.6]	枠組材相互を繋結する釘の打ち方と種類 ※木造標準仕様書7.5.7(1)(7)~(9)による															
		構造用面材と枠組材を繋結する釘の種類、釘打ちの間隔及び釘打ち方 ※木造標準仕様書7.5.7(2)(7)~(9)による																

4	各種ボルトの工法 [7.5.9]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた産金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法 ・図示による														
		5 ラグスクリューの工法 [7.5.10]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法 ・図示による													
6	ドリフトピンの工法 [7.5.11]	6 ドリフトピンの工法 [7.5.11]	径 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法 ・図示による													
		7 床束 [7.7.2]	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束		
	床荷重条件	性能	仕様	設置方法												
・鋼製床束																
・樹脂製床束																
8	丸太組構法工事	1 接合具等 [8.2.4]	ジャッキボルト 材質 ※SS400 (JIS G 3101) ・ ボルト径 ・ 産金の大きさ及び厚さ ・ 垂木用スライド金物 材質 ※SS400 (JIS G 3101) ・ 垂木と桁との釘接合の接合方法 ・図示による													
		2 丸太組壁用木材の断面加工 [8.2.4]	断面形状 木造標準仕様書8.4.1による ・(イ) ・(ロ) ・(ハ) ・(ニ) 実形状 ※製造所の仕様 ・図示 見付高さ、重なり幅、節材種 ※図示													
3	丸太組壁用木材の交差部形状加工 [8.6.3]	3 丸太組壁用木材の交差部形状加工 [8.6.3]	交差部の位置 ・図示 交差部の形状 ※製造所の仕様 交差部が壁面から200mm未満の場合の補強方法 ※図示													
		4 木材の表面仕上げ [8.4.5]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材 (部位) () ・超自動機械かんな掛け仕上げ 適用部材 (部位) () ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) () 手加工 ・													
5	丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8.4.6]	5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8.4.6]	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書8.4.4 ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示													
		6 継手の補強方法 [8.4.7]	・丸太組壁用木材に繋ける継手の方法 ・目違い継ぎ、ひし金物釘打ち ・腰掛あり継ぎ、ボルト締め ・突付け継ぎ、重いざね及びだば (又はボルト) の挿入													
7	仮組立 [8.4.9]	7 仮組立 [8.4.9]	・行う ・行わない													
		8 アンカーボルトの設置等 [8.5.3]	埋込み深さ ・図示による 保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm以下 (JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場] (3) による)													
9	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [8.5.4]	9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [8.5.4]	材料 ・木造標準仕様書8.5.4(イ)によるモルタル ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による													
		10 通しボルトの工法 [8.5.7]	通しボルトを耐力壁の上端部及び中間部で締付け及び増締めする場合の工法 ・図示による 通しボルトを木造標準仕様書8.5.7(8)(9)(a)から(c)以外で増締めを行う場合の時期 ・													
11	ジャッキボルトの工法 [8.5.8]	11 ジャッキボルトの工法 [8.5.8]	・ジャッキボルトを木造標準仕様書8.5.8(2)(7)から(9)以外で増締めを行う場合の時期 ・													

12	釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [8.5.11]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじ 種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し															
		13 各種ボルトの工法 [8.5.12]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた産金の大きさ ・図示による														
14	火打土台 [8.6.2]	14 火打土台 [8.6.2]	・木製の火打土台 見付け平使いとした場合 土台との仕口の形状 ・図示による 留付け釘の種類 ・図示による 留付け方法 ・図示による ・鋼製の火打土台 ・図示による														
		15 火打梁 [8.7.9] [8.8.5]	小屋根 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁														
16	床束 [8.8.2]	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束				
			床荷重条件	性能	仕様	設置方法											
・鋼製床束																	
・樹脂製床束																	
9	CLTパネル工法工事	1 孔あけ加工 [9.4.4]	ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ ※木造標準仕様書9.4.1による ・図示による ドリフトピンの孔径 ※軸径と同径 ・図示による 引きボルトの孔径 ※軸径・5~10mm ・図示による														
		2 表面仕上げ [9.4.5] [8.12.2]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材 (部位) () ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) () 見え掛り面の表面仕上げの程度 ・標準仕様書 表18.12.1による木材保護塗料塗り 適用部材 (部位) () 種別 ・A種 ※B種														
3	アンカーボルトの設置 [9.5.3]	3 アンカーボルトの設置 [9.5.3]	埋込み深さ ・図示による 保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 (土台用) ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差														
		4 基礎天端均しモルタルの仕上げ [9.5.4] [8.5.2]	材料 ・木造標準仕様書9.5.4(イ)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による														
5	建方精度 [9.5.7]	5 建方精度 [9.5.7]	建入れ直し後の建方精度の許容値 (水平、垂直の誤差の範囲) ※1/1,000以下、かつ床の天端及び壁の天端の平坦さ±3mm以下														
		6 接合金物の工法 [9.5.9]	構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法 ・図示による														
7	釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [9.5.10]	7 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [9.5.10]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじ 種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し														
		8 各種ボルトの工法 [9.5.11]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた産金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法 ・図示による														
9	ラグスクリューの工法 [9.5.12]	9 ラグスクリューの工法 [9.5.12]	構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法 ・図示による														
		10 ドリフトピンの工法 [9.5.13]	構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法 ・図示による														
工事名		十日市公園トイレ改築工事															
図面名		木造建築工事特記仕様書 3															
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和8年4月	N o. A-03														
課長 課長補佐 係長 課員		担当者	A-19														
承認		承認	製図														

Table with 4 columns: ① 木工事, ② 表面仕上げ (10.1.4), ③ 一般事項 (10.2.1), ④ 材料 (10.2.1). Includes sections for ① 表面仕上げ, ② 一般事項, ③ 材料, ④ 接合具等, ⑤ 防蟻・防虫処理, ⑥ 不燃処理材等, ⑦ 外壁通気構法下地.

Table with 4 columns: ① 防水工事, ② シーリング, ③ 防水テープ, ④ パルコニー手すり, ⑤ ケイ酸質系塗防水. Includes sections for ① 防水工事, ② シーリング, ③ 防水テープ, ④ パルコニー手すり, ⑤ ケイ酸質系塗防水, ⑥ 石材, ⑦ 取付け金物, ⑧ その他の材料, ⑨ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地, ⑩ 見本機・試験施工, ⑪ セメントモルタルによるタイル張り, ⑫ タイル工事, ⑬ 有機系接着剤によるタイル張り.

Table with 4 columns: ① 共通材料 (14.2.2), ② 金属板葺 (14.3.2), ③ 折板葺 (14.4.2), ④ 粘土瓦葺 (14.5.2), ⑤ スレート瓦 (14.6.2). Includes sections for ① 共通材料, ② 金属板葺, ③ 折板葺, ④ 粘土瓦葺, ⑤ スレート瓦.

Table with 4 columns: ① 下葺材料, ② 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策, ③ 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策, ④ 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策. Includes sections for ① 下葺材料, ② 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策, ③ 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策, ④ 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策.

Table with 4 columns: ① 工事名, ② 図面名, ③ 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課, ④ 令和8年4月. Includes sections for ① 工事名, ② 図面名, ③ 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課, ④ 令和8年4月.

15	旗竿受金物	材種 ・ ステンレス製 (SUS 304) ・																												
16	車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 上下式銀内蔵式</td> <td>・ 標準品</td> <td>・ ステンレス製</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ スプリング式</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)	・ 上下式銀内蔵式	・ 標準品	・ ステンレス製	・	・	・ スプリング式	・	・																
形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)																											
・ 上下式銀内蔵式	・ 標準品	・ ステンレス製	・																											
・	・ スプリング式	・	・																											
17	フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 鋼管フェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ アルミフェンス 高さ ・ 図示 ・																												
18	屋内揭示板 (G)	枠の材質 ※ アルミニウム製 表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り																												
19	収納家具 (G)	材質、形状、寸法 ※ 図示 合板類、MDF 及び パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・																												
20	屋外揭示板 (G)	本体材質 ※ ステンレス製 ・ 掲示板面材質 ・ 照明器具 ・ 有り ・ 無し 施設設置 ※ 有り ・ 無し 形状寸法 ※ 図示による ・																												
21	くつきマット	・ 塩化ビニル又はゴム製 (受け枠ステンレス製 (SUS304)) ワンライン型 ・ 硬質アルミニウム合金製 (受け枠ステンレス製 (SUS304)) ・ ステンレス製 (SUS304) (受け枠ステンレス製 (SUS304))																												
22	階段手すり笠木	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ CL</td> <td>・ 60 ・ 45 ・ 40</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL</td> <td>・ 60 ・ 45 ・ 40</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ SOP</td> <td>・ EP-G</td> <td>・ 60 ・ 45 ・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材	・ CL	・ 60 ・ 45 ・ 40	・	・ ステンレスパイプ	・ HL	・ 60 ・ 45 ・ 40	・	・ 鋼製パイプ	・ SOP	・ EP-G	・ 60 ・ 45 ・ 40	・ ビニル製											
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																											
・ 集成材	・ CL	・ 60 ・ 45 ・ 40	・																											
・ ステンレスパイプ	・ HL	・ 60 ・ 45 ・ 40	・																											
・ 鋼製パイプ	・ SOP	・ EP-G	・ 60 ・ 45 ・ 40																											
・ ビニル製																														
23	天井見切り縁	材種 ・ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品																												
24	ビクチャーレール	・ 見切り兼兼用タイプ ・ 移動フック 幅 m 安全重量 ※ 15kg以上 ・																												
25	誘導用床材、注意喚起用床材	材種 ・ レジンコンクリート製 (厚さ60mm) ・ 磁器質タイル製 表面形状 JIS T 9251による 寸法 ※ 300x300 ・ 色 ・ 黄色 ・																												
26	サイディング (20.3.2)	<p>窯業系サイディング工事 (20.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>働き長さ</th> <th>厚さ</th> <th>表面</th> <th>耐凍害</th> <th>防火・耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>働き幅</td> <td>(mm)</td> <td>仕上げ</td> <td>性能</td> <td></td> </tr> </table> <p>張り方 ・ 縦張り工法 ・ 横張り工法 換気口部の防水措置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(ウ)(a)①~④までによる 図示 現場塗装用サイディングの下部処理及び仕上げ ・ 通気網織 樹種 ※ 杉 ・ 寸法 ※ 図示 通気網織の防風処理方法() シーリング 寸法 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(b)による</p> <p>複合金属サイディング工事 (20.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>働き長さ</th> <th>厚さ</th> <th>表面</th> <th>耐凍害</th> <th>防火・耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>働き幅</td> <td>(mm)</td> <td>仕上げ</td> <td>性能</td> <td></td> </tr> </table> <p>張り方 ・ 縦張り工法 ・ 横張り工法 換気口部の防水措置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(ウ)(a)①~④までによる 図示 現場塗装用サイディングの下部処理及び仕上げ ・ 通気網織 樹種 ※ 杉 ・ 寸法 ※ 図示 通気網織の防風処理方法()</p>	種類	形状	働き長さ	厚さ	表面	耐凍害	防火・耐火性能	・	・	働き幅	(mm)	仕上げ	性能		種類	形状	働き長さ	厚さ	表面	耐凍害	防火・耐火性能	・	・	働き幅	(mm)	仕上げ	性能	
種類	形状	働き長さ	厚さ	表面	耐凍害	防火・耐火性能																								
・	・	働き幅	(mm)	仕上げ	性能																									
種類	形状	働き長さ	厚さ	表面	耐凍害	防火・耐火性能																								
・	・	働き幅	(mm)	仕上げ	性能																									

22	舗装工事	<p>2.1 路床 [22.2.2~5]</p> <p>路床の材料 (22.2.2.3.5)(表22.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 遮断層</td> <td>・ 建設汚泥から再生した処理土 (G)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン (G) ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μm0.075mmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> </table> <p>路床安定処理</p> <table border="1"> <tr> <th>追加材料による安定処理</th> <th>種類</th> <th>普通ポルトランドセメント</th> <th>高炉セメントB種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ フライアッシュセメントB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号)</td> <td>・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>添加量 kg (目標CR 5以上)</td> <td></td> </tr> </table> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ※ 行わない ・ 行う 路床締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う 現場CBR試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>2.2 路盤 [22.3.2~5]</p> <p>路盤の厚さ ・ 図示 ・ 路盤材料 ・ 砕石 ・ 再生クラッシュラン (G) ・ クラッシュラン 鉄鋼スラグ ・ 図示 試験 路盤締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>2.3 アスファルト舗装 [22.4.2~6]</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・ 材料 アスファルト ・ 再生アスファルト (G) ・ ストレートアスファルト 骨材 ・ 道路用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材 (G) 加熱アスファルト混合物等の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・ 一般地域</td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基層</td> <td>・ 寒冷地域</td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td>・ 一般及び寒冷地域</td> <td>・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)</td> </tr> </table> <p>シーリングの施工 ※ 行わない ・ 行う 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>2.4 コンクリート舗装 [22.5.2~6]</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車道部</td> <td>・ 図示 ・ 150</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td>・ 図示 ・ 70</td> </tr> </table> <p>縁部立下り寸法等 ・ 図示 材料 コンクリート ・ 標準仕様書表22.5.2による ・ 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 ※ 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.11による ・ 図示 試験 コンクリート版厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>2.5 カラー舗装 [22.6.2~4]</p> <p>・ 加熱系カラー舗装 構成、厚さ ※ 図示 ・ 加熱系混合物の配合材 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) 着色骨材 ()、自然石 () ・ 常温系カラー舗装 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部の厚さ ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装</p> <p>2.6 透水性アスファルト舗装 [22.7.2~6]</p> <p>舗装の構成 ※ 標準仕様書による ・ 図示による アスファルト ※ 再生アスファルト (G) ・ ストレートアスファルト 骨材 ※ 道路用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材 (G) アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>2.7 ブロック系舗装 [22.8.2~3]</p> <p>・ コンクリート平板舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 普通平板 (N)</td> <td>※ 300角</td> <td>・ 60</td> <td>※ 砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 研ぎ出し ・ 洗い出し</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ たたき出し</td> </tr> </table> <p>・ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状・寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td>車道部</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 80</td> <td>※ 5.0</td> <td>色彩、表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>歩道部</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 60</td> <td>※ 3.0</td> <td>・ 標準品</td> </tr> </table> <p>・ 礫石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 花こう岩</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 80</td> <td>・ うろこ張り</td> <td>・ コンクリート舗装</td> <td>※ 70</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ アスファルト舗装</td> <td>※ 50</td> </tr> </table> <p>2.8 砂利敷き [22.9.2]</p> <p>種別 ・ A種 (施工範囲 ・ 図示 ・ 通路 ・) ・ B種 (施工範囲 ・ 図示 ・ 建築物の周囲その他 ・)</p> <p>2.9 路面標示用塗料</p> <p>JIS K 5665 (路面標示用塗料) による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 1種</td> <td rowspan="2">常温</td> <td rowspan="2">液状</td> <td rowspan="2">・ 白</td> <td rowspan="2">・ 150</td> <td rowspan="2">・ 1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 2種</td> <td>加熱</td> <td>・</td> <td>・ 100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 3種 1号</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>低揮発性有機溶剤型の路面標示用塗料 (G)</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示	・ 遮断層	・ 建設汚泥から再生した処理土 (G)	・ 図示	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン (G) ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利	・ 図示	・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μm0.075mmふるい通過量10%以下)	・ 図示	追加材料による安定処理	種類	普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種			・ フライアッシュセメントB種				・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号)	・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)			添加量 kg (目標CR 5以上)		区分	地域	種類	表層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)		・ 細粒度アスファルト混合物 (13)	基層	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)	・ 一般及び寒冷地域	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)	舗装の種類	部位	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150	歩道部	・ 図示 ・ 70	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	※ 普通平板 (N)	※ 300角	・ 60	※ 砂	表面加工	・ 透水平板 (P)	・	・	・ 砂	・ 研ぎ出し ・ 洗い出し	・ 保水性平板 (M)	・	・	・	・ たたき出し	種類	部位	形状・寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※ 普通ブロック (N)	車道部	※ 図示	※ 80	※ 5.0	色彩、表面加工	・ 透水性ブロック (P)	歩道部	※ 図示	※ 60	※ 3.0	・ 標準品	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)	※ 花こう岩	・ 図示	・ 80	・ うろこ張り	・ コンクリート舗装	※ 70	・	・	・	・	・ アスファルト舗装	※ 50	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・ 1種	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0	・ 2種	加熱	・	・ 100	・	・ 3種 1号	溶解	粉体状			
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																			
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示																																																																																																																																			
・ 遮断層	・ 建設汚泥から再生した処理土 (G)	・ 図示																																																																																																																																			
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン (G) ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利	・ 図示																																																																																																																																			
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μm0.075mmふるい通過量10%以下)	・ 図示																																																																																																																																			
追加材料による安定処理	種類	普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種																																																																																																																																		
		・ フライアッシュセメントB種																																																																																																																																			
		・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号)	・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)																																																																																																																																		
		添加量 kg (目標CR 5以上)																																																																																																																																			
区分	地域	種類																																																																																																																																			
表層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																																																																			
		・ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																																																																			
基層	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																			
	・ 一般及び寒冷地域	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)																																																																																																																																			
舗装の種類	部位	厚さ (mm)																																																																																																																																			
コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150																																																																																																																																			
	歩道部	・ 図示 ・ 70																																																																																																																																			
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																	
※ 普通平板 (N)	※ 300角	・ 60	※ 砂	表面加工																																																																																																																																	
・ 透水平板 (P)	・	・	・ 砂	・ 研ぎ出し ・ 洗い出し																																																																																																																																	
・ 保水性平板 (M)	・	・	・	・ たたき出し																																																																																																																																	
種類	部位	形状・寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																																																																																																																
※ 普通ブロック (N)	車道部	※ 図示	※ 80	※ 5.0	色彩、表面加工																																																																																																																																
・ 透水性ブロック (P)	歩道部	※ 図示	※ 60	※ 3.0	・ 標準品																																																																																																																																
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																
※ 花こう岩	・ 図示	・ 80	・ うろこ張り	・ コンクリート舗装	※ 70																																																																																																																																
・	・	・	・	・ アスファルト舗装	※ 50																																																																																																																																
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																																																																																
・ 1種	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0																																																																																																																																
						・ 2種	加熱	・	・ 100	・																																																																																																																											
・ 3種 1号	溶解	粉体状																																																																																																																																			

3	樹木 [23.3.2~3]	植込み用土 ※ 現場発生土の良質土 ・ 客土 土壌改良材 ・ バーク堆肥 (G) 施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 50L ・) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) (G) 施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物」に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする
4	新植、移植樹木、芝等の枯保証 [23.3.4.6] [23.4.7]	樹種、寸法、株立数等 ※ 図示 支柱材 ※ 丸太 (間伐材) (G) ・ 真竹 ・ 新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯保証の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 無し ・ 移植樹木の枯保証を行う期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 無し

27	排水工事	<p>2.1 排水管 [21.2.1]</p> <p>排水管用材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管 (1種)</td> <td>・ B形管</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・ VP</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ VU</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ RS-VP</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ RS-VU</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 側溝 形状及び寸法 ・ 図示 ・ ・ 鉄筋製ふた</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>壁</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鉄筋製マンホールふた</td> <td>・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (バッキン式) ・ 密閉形 (テーパ・バッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・バッキン式)</td> <td>・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用</td> <td>・ 有り ・ 無し</td> <td>左記以外の品質等は 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による</td> </tr> </table> <p>塩ビ製 ・ RS-VU ・ グレーチング</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>M/N-ビツ</th> <th>垂鉛めつき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・ 鋼製 ・ ホールふた ・ ステンレス製</td> <td>・ 受付付き、ボルト固定 ・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 溝ふた用 ・ U字溝用</td> <td>・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用</td> <td>・ 歩行用</td> <td>・ 細目</td> <td>・ ()</td> <td>・ 凹凸形 ・ 平形</td> </tr> </table> <p>2.2 街きよ、縁石、側溝 [21.3.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・ 縁石</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝ふた</td> <td>・ 図示</td> </tr> </table>	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示		・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ VP	・	※ 図示			・ VU	・	※ 図示			・ RS-VP	・	※ 図示			・ RS-VU	・	※ 図示		名称	種類	適用荷重	壁	備考	鉄筋製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (バッキン式) ・ 密閉形 (テーパ・バッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・バッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による	材質	形式	用途	適用荷重	M/N-ビツ	垂鉛めつき (付着量)	上面形状	・ 鋼製 ・ ホールふた ・ ステンレス製	・ 受付付き、ボルト固定 ・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 溝ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	・ 歩行用	・ 細目	・ ()	・ 凹凸形 ・ 平形	種類	形状、寸法	・ 縁石	・ 図示	・ U形側溝	・ 図示	・ U形側溝ふた	・ 図示
材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																												
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示																																																													
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ VP	・	※ 図示																																																													
	・ VU	・	※ 図示																																																													
	・ RS-VP	・	※ 図示																																																													
	・ RS-VU	・	※ 図示																																																													
名称	種類	適用荷重	壁	備考																																																												
鉄筋製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (バッキン式) ・ 密閉形 (テーパ・バッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・バッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による																																																												
材質	形式	用途	適用荷重	M/N-ビツ	垂鉛めつき (付着量)	上面形状																																																										
・ 鋼製 ・ ホールふた ・ ステンレス製	・ 受付付き、ボルト固定 ・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 溝ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	・ 歩行用	・ 細目	・ ()	・ 凹凸形 ・ 平形																																																										
種類	形状、寸法																																																															
・ 縁石	・ 図示																																																															
・ U形側溝	・ 図示																																																															
・ U形側溝ふた	・ 図示																																																															
28	舗装工事	<p>2.3 植栽地の確認 [23.1.3]</p> <p>2.4 植栽基盤の整備 [23.2.2~4]</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ 樹木</td> <td>※ A種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)</td> <td>・ 葉張り部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D種</td> <td>樹高3m未満 (※50 ・ 60)</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 芝、地被類 ※ B種 ※ 20 ・</p> <p>植栽基盤の排水設備 ・ 設ける (※ 図示 ・) ・ 設けない</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木	※ A種	樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)	・ 葉張り部分	・ 適用する	・ B種	樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)	・ 植栽部分	・ 適用しない	・ C種	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)	・ 図示		・ D種	樹高3m未満 (※50 ・ 60)	・																																									
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																												
・ 樹木	※ A種	樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)	・ 葉張り部分	・ 適用する																																																												
	・ B種	樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)	・ 植栽部分	・ 適用しない																																																												
	・ C種	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)	・ 図示																																																													
	・ D種	樹高3m未満 (※50 ・ 60)	・																																																													

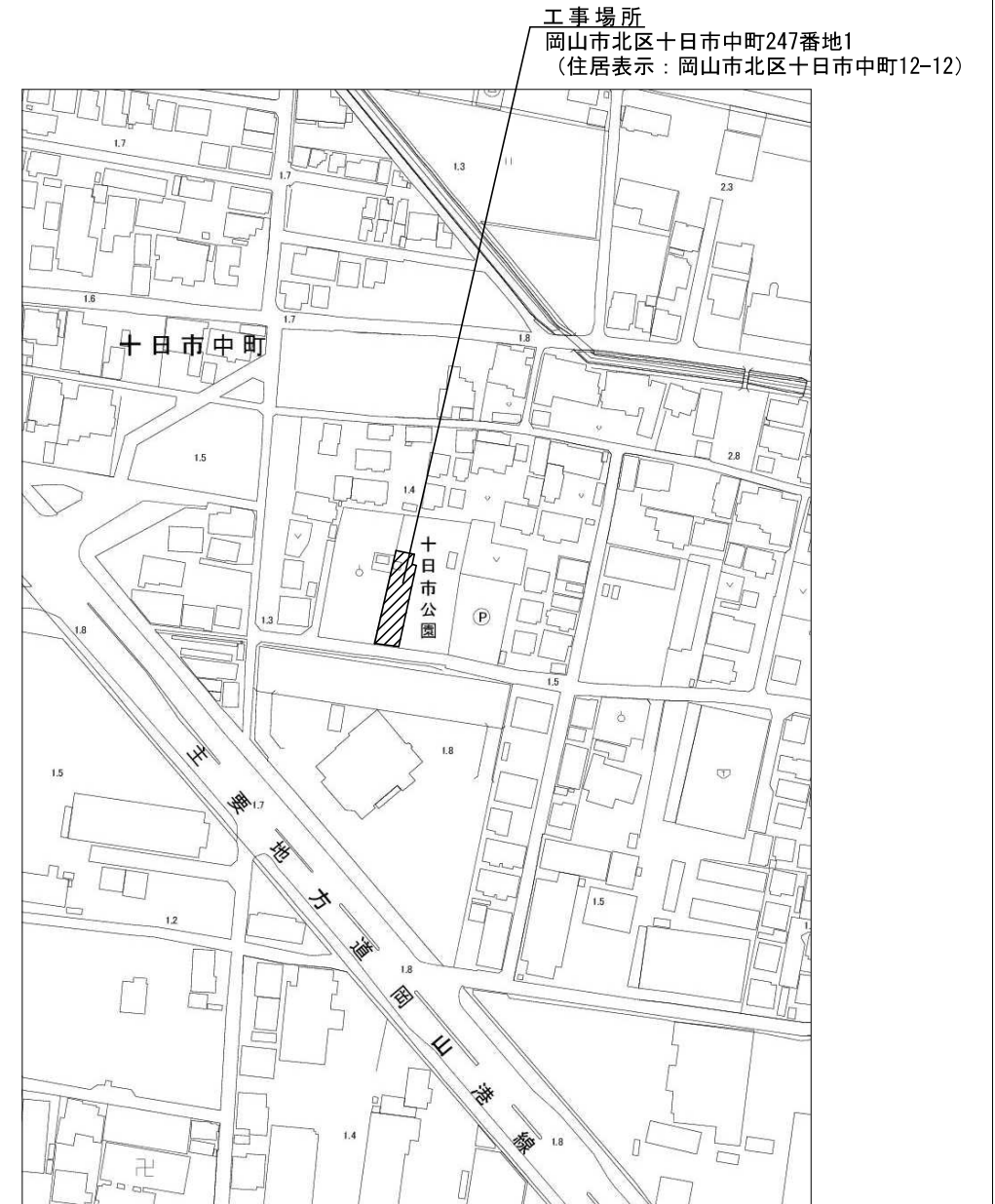
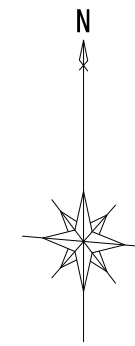
工事名				十日市公園トイレ改築工事				No.	
図面名				木造建築工事特記仕様書7				A-07	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月		A-19			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製印		

設計概要	
1. 工事名	十日市公園トイレ改築工事
2. 工事場所	岡山市北区十日市中町247番地1 (住居表示：岡山市北区十日市中町12-12)
3. 主要用途	公衆便所
4. 構造・規模	構造：木造 平屋建、基礎：鉄筋コンクリート造
5. 用途地域	市街化区域・第1種住居地域
6. 防火地域	—

外部仕上表	
屋根	ガルバリウム塗装鋼板t0.4 縦はげ葺き、野地板(構造用合板t12+杉板材t12、W150)、アスファルト・フィング 940下地
軒裏	軒天井ボード(有機質系繊維混入メント板) t12 一部有孔ボード 塗装品
樋	軒樋：塩ビ角樋120×120、堅樋：カラーVP65φ SUS控金物
外壁	防火サイディングt16(金具止め工法)コーナ役物共、透湿防水シート、木部：WP塗(2回)
土台水切り	ガルバリウム塗装鋼板t0.35 曲げ加工
基礎立上り	コンクリート打放し(B種)、打継化粧目地
スロープ	モルタル刷毛引き t30

内部仕上表				
場所	床	壁	腰壁	天井
簡易型多機能便所	100角磁器質タイル	PBt9.5下地 珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌 ローター塗) ベース パーテイクルボード 芯メラミン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 (木部：WP塗2回)
小便器便所	100角磁器質タイル	PBt9.5下地 珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌 ローター塗) ベース パーテイクルボード 芯メラミン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 (木部：WP塗2回)
手洗い	100角磁器質タイル	PBt9.5下地 珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌 ローター塗) ベース パーテイクルボード 芯メラミン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 (木部：WP塗2回)
掃除道具入	100角磁器質タイル	PBt9.5下地 珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌 ローター塗) ベース パーテイクルボード 芯メラミン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 (木部：WP塗2回)

同等品リスト	
床100角タイル・・・	INAX<アコルテ>IG>同等品以上
モザイクタイル・・・	INAX<カコンモザイクカラー>同等品以上
外壁サイディング・・・	ニハエインテラート16<ラチコート>同等品以上 (防火構造認定番号PC030BE-9201)
	(内壁：Pbt-9.5mm以上)
屋根・・・	JFE鋼板レチライ立平333、元旦ユーティ工業TRX4型同等品以上 (不燃認定番号NM-8697)
WP塗・・・	<キラーコル>同等品以上

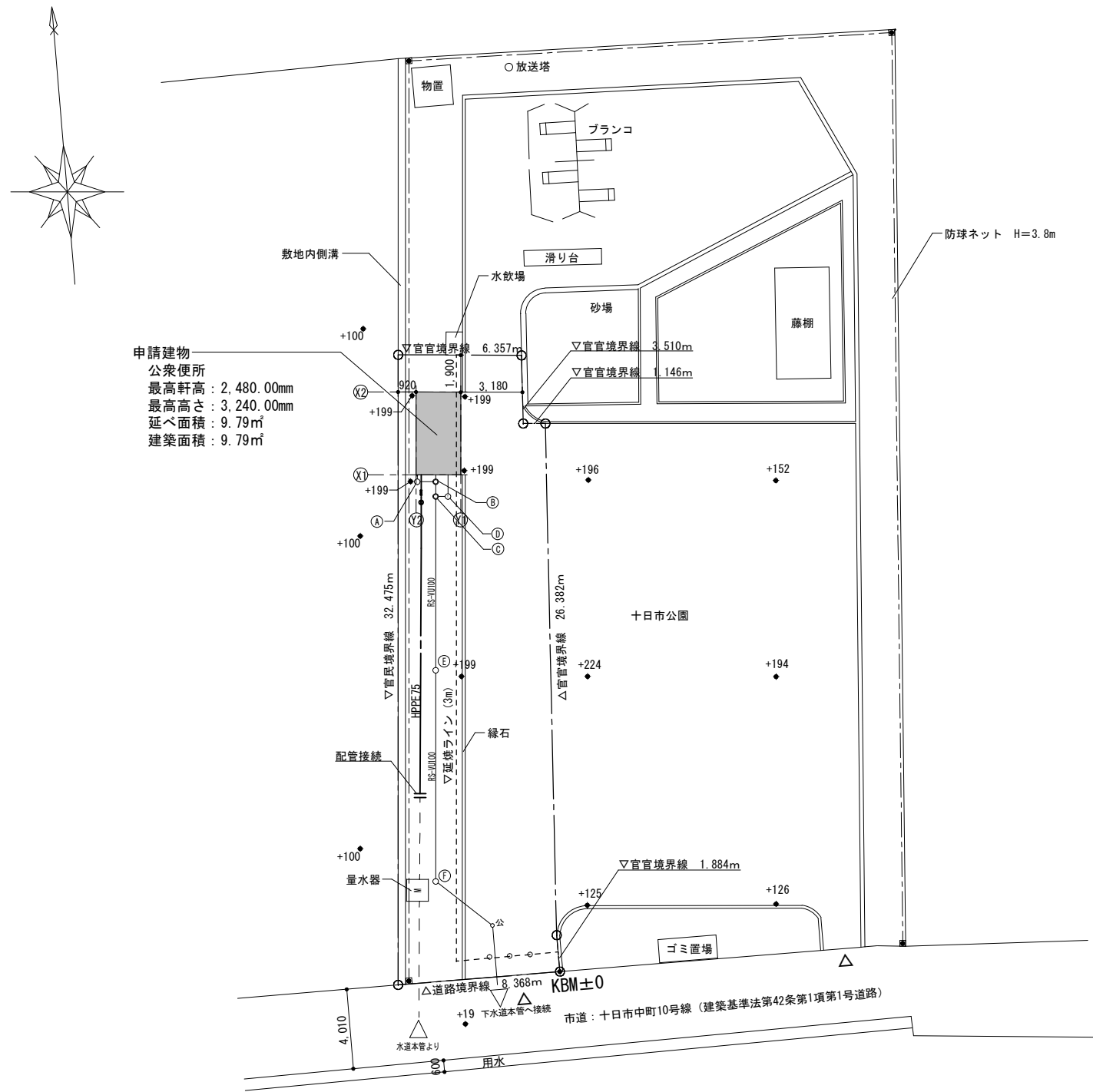


付近見取図S=1/2, 500

※いずれの材料も石綿の使用はないものとする。

工事名	十日市公園トイレ改築工事			N.O.	
図面名	設計概要・仕上表・付近見取図	縮尺	1/2500	A-09	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月	A-19
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検図
					製図

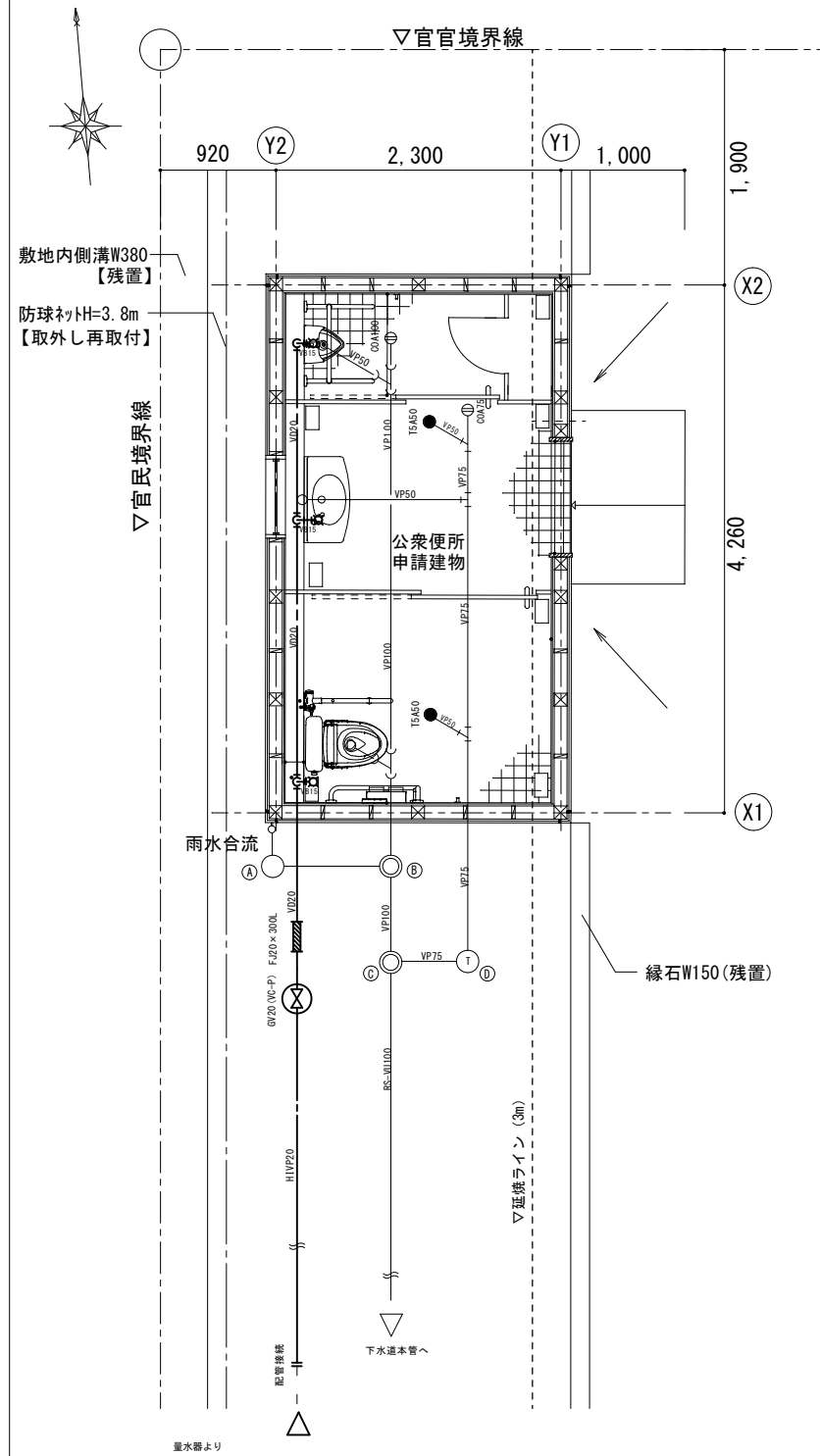
配置図 S=1/300



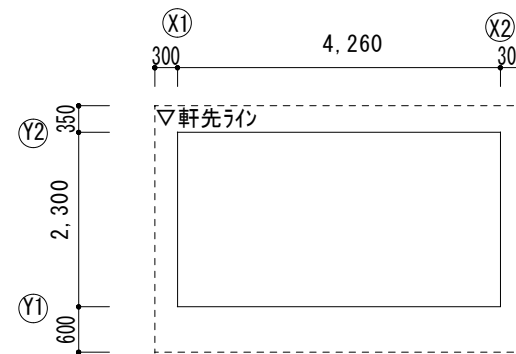
配置図 S=1/300

樹リスト				
種類	寸法	管底 (現状GL-)	備考	
①	ポリプロピレン製溜樹	φ300 GL-300	密閉式レコン蓋 (泥溜め≧150mm)	新設
②	塩ビ製インパート樹	φ300 GL-310	密閉式塩ビ製蓋	新設
③	塩ビ製インパート樹	φ300 GL-320	密閉式塩ビ製蓋	新設
④	ポリプロピレン製トラップ樹	φ300 GL-310	密閉式レコン蓋 (泥溜め≧150mm)	新設
⑤	塩ビ製インパート樹	φ300 GL-550	密閉式塩ビ製蓋	新設
⑥	塩ビ製インパート樹	φ300 GL-700	密閉式塩ビ製蓋	新設
公	塩ビ製公共樹	φ200 GL-800	密閉式鉄製蓋	新設

配置詳細図 S=1/60

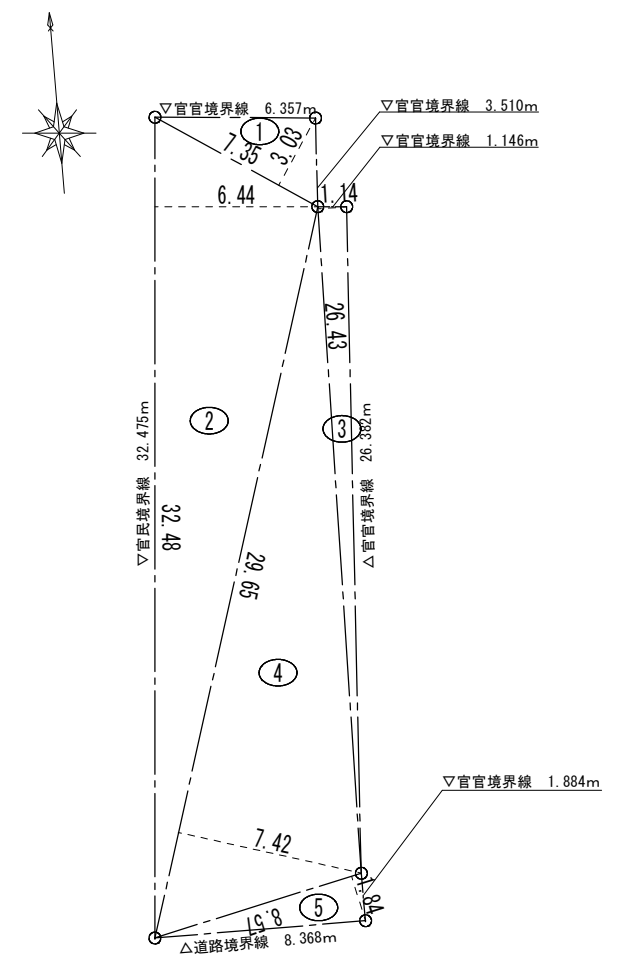


建物面積求積図 S=1/100



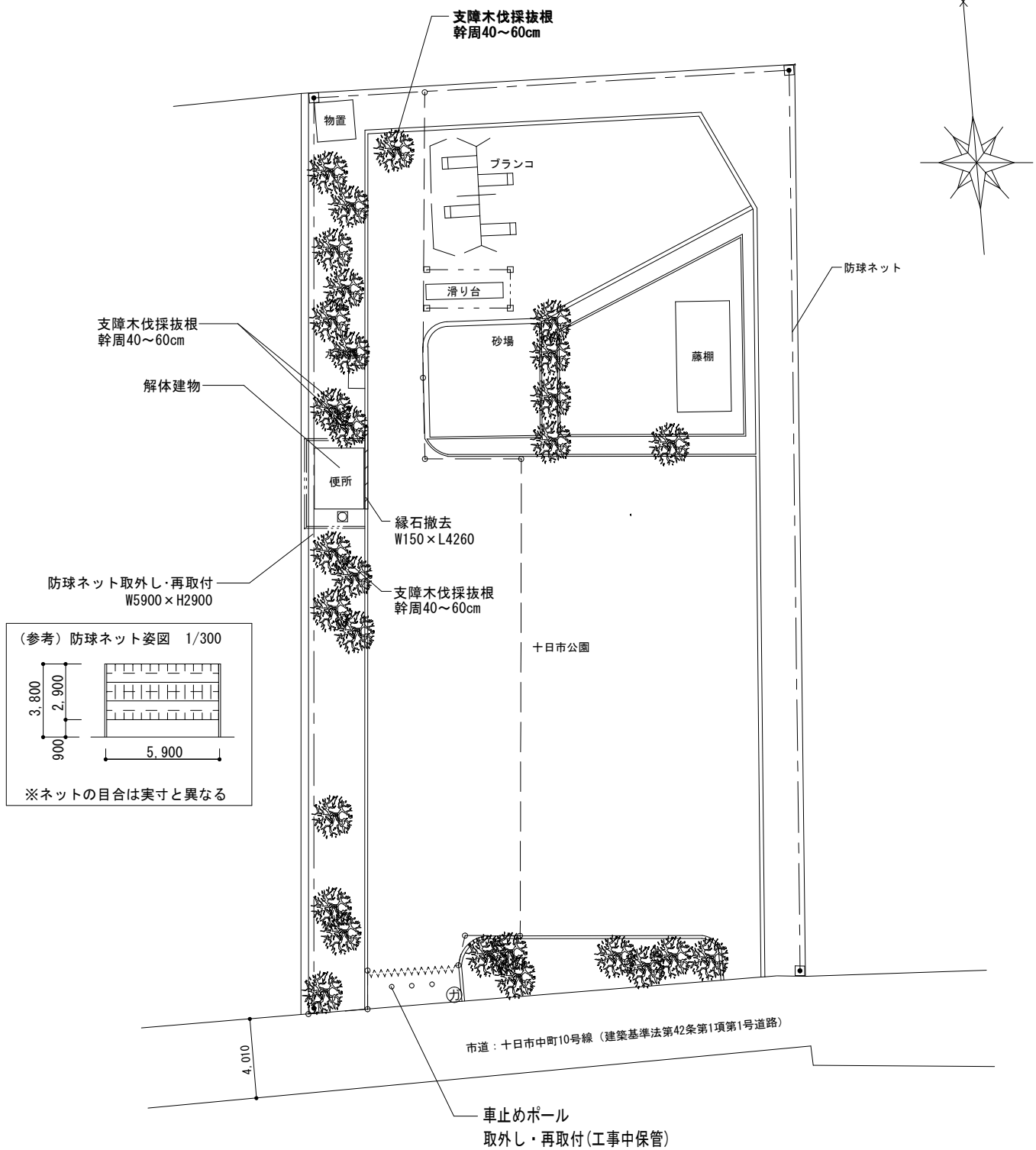
算定式
 建築面積: $4.26 \times 2.30 = 9.798\text{m}^2$
 延床面積: $4.26 \times 2.30 = 9.798\text{m}^2$

敷地面積求積図 S=1/300

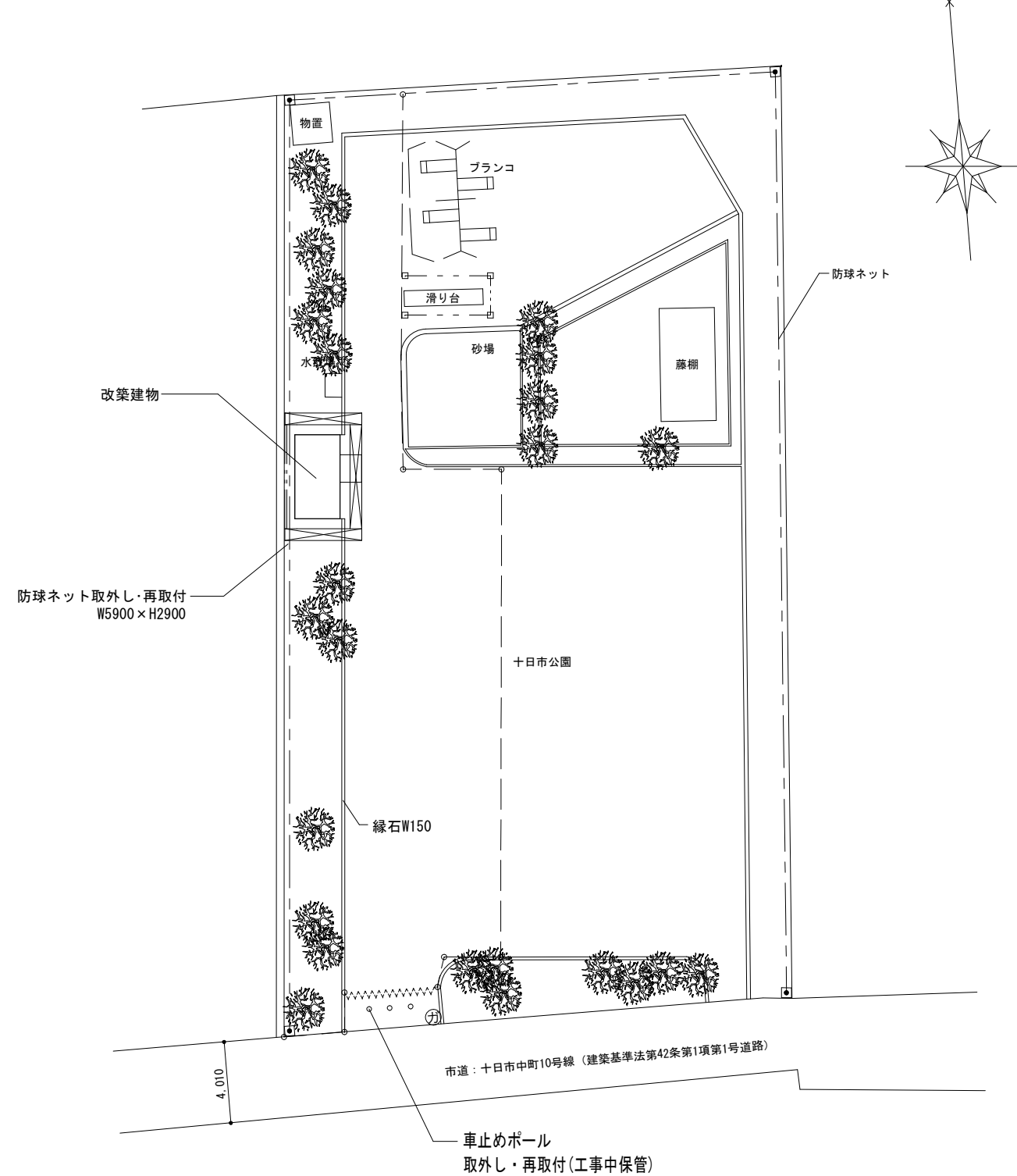


番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	7.35	3.03	22.2705	11.13525
2	32.48	6.44	209.1712	104.58560
3	26.43	1.14	30.1302	15.06510
4	29.65	7.42	220.0030	110.00150
5	8.57	1.84	15.7688	7.88440
合計				248.67185
敷地面積				248.67 m ²

工事名	十日市公園トイレ改築工事			N. No.	A-10		
図面名	配置図・求積図			縮尺	1/60, 1/100, 1/300		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月	A-19		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図



仮設計画図（解体）S=1/300



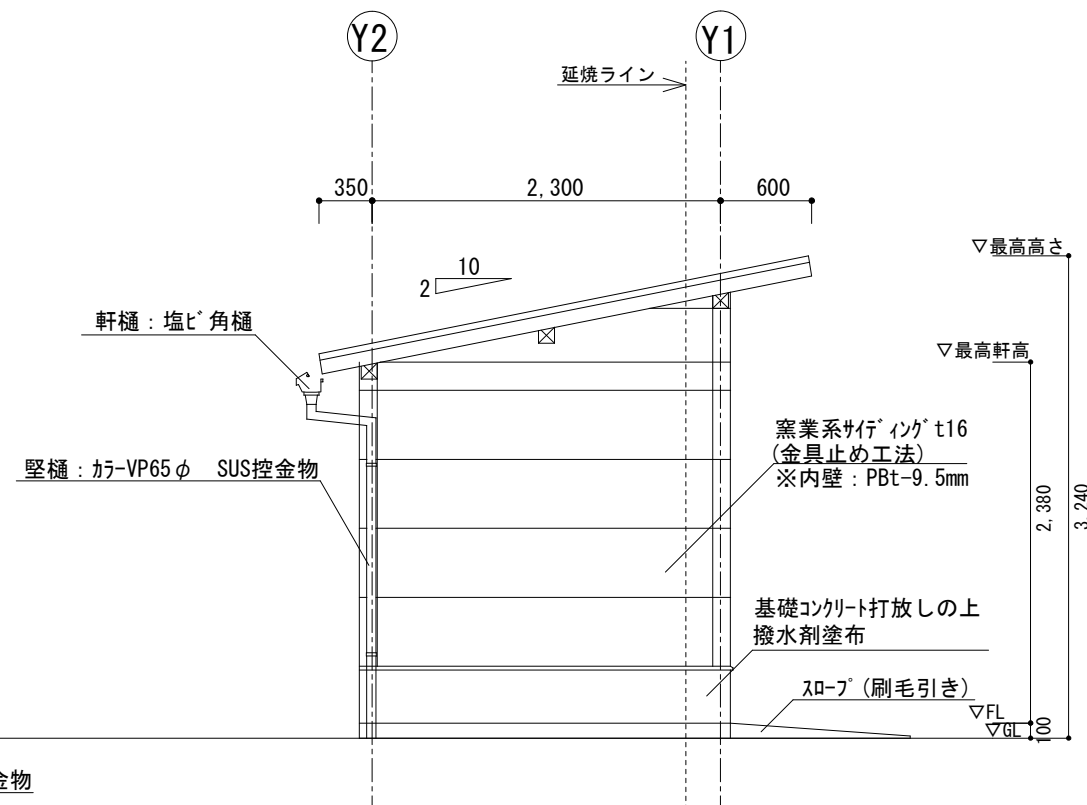
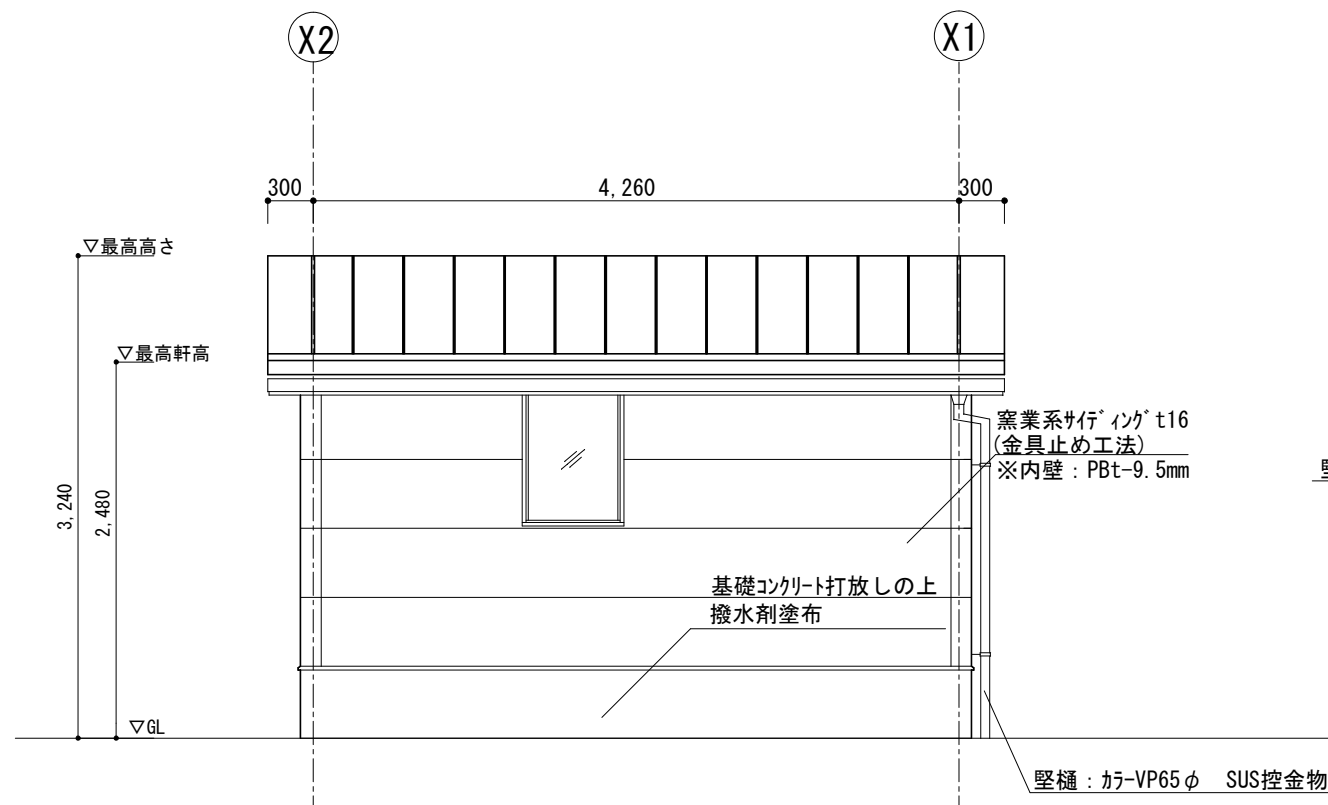
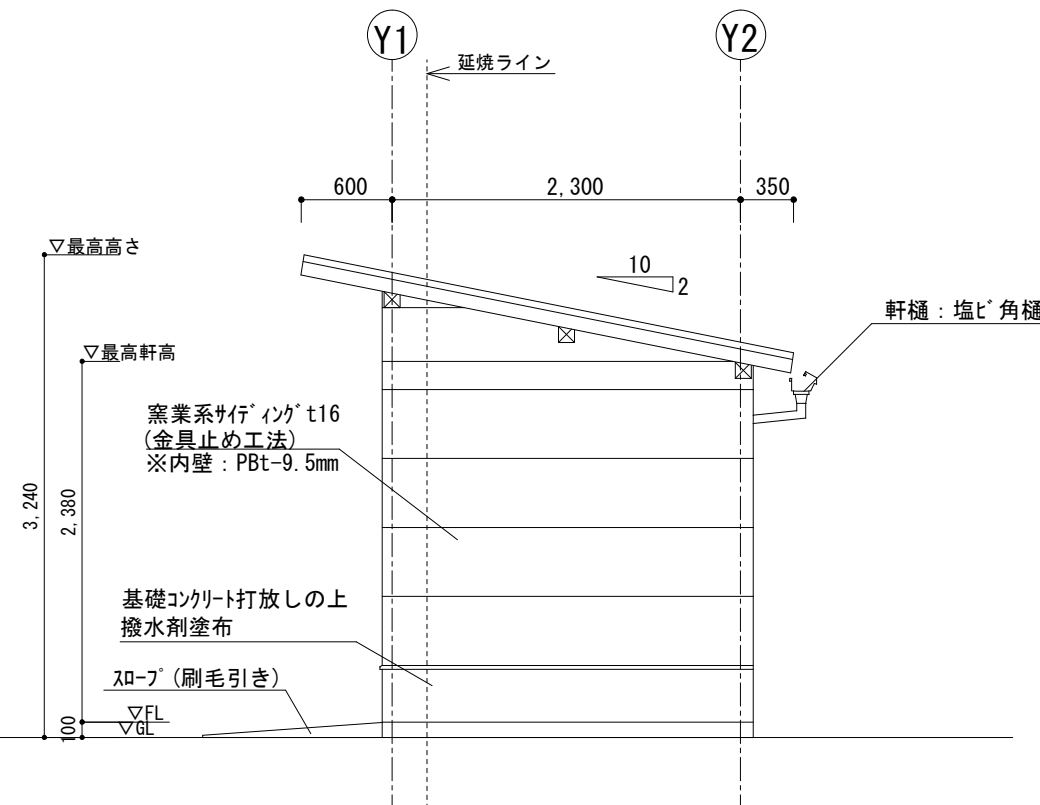
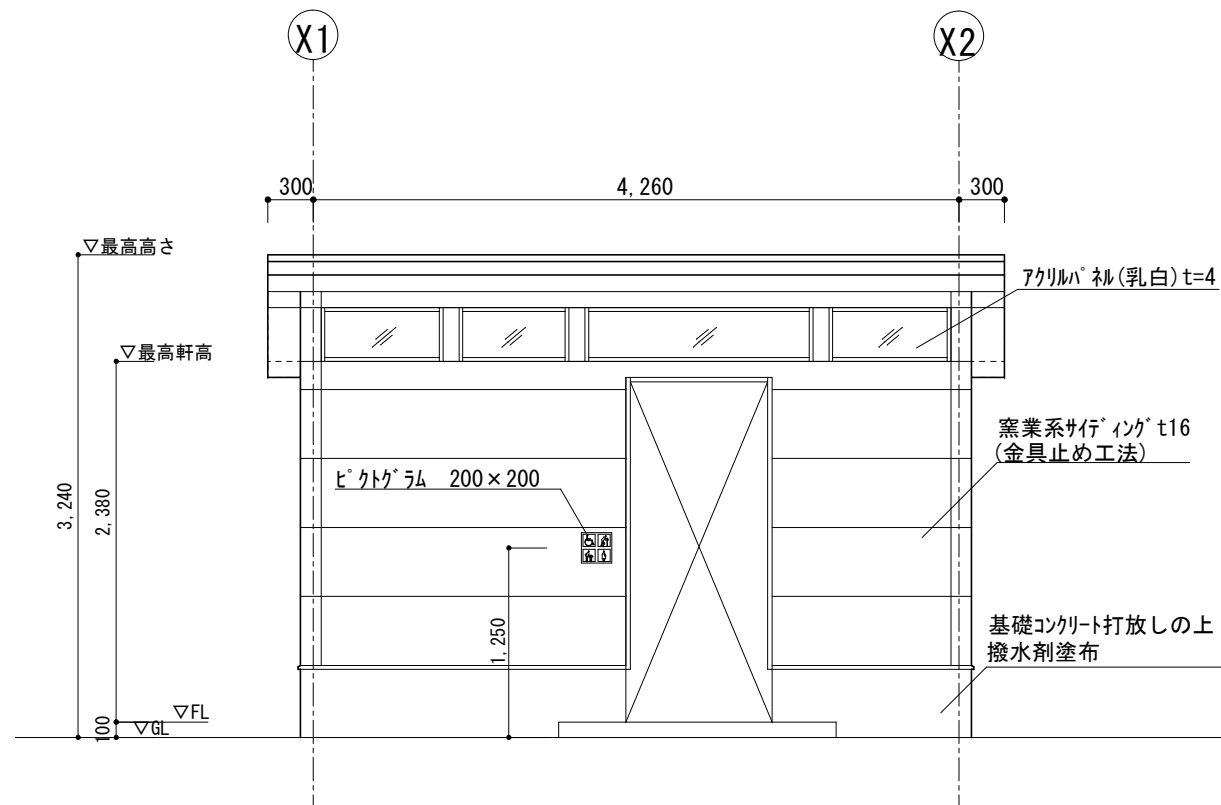
仮設計画図（改築）S=1/300

- 【 特記事項 】
- ・当該仮設計画図はあくまで参考図であるため、受注者で現地調査の上、仮設計画を行うこと。
 - ・工事車両は公園西側の出入口から進入すること。
 - ・公園の一般利用者等の安全のため、施設をしっかりと行い、工事ヤードを明確に分けること。
 - ・ガードフェンス等の仮設材の倒壊防止を充分に行い、工事資材についても責任を持って管理すること。
 - ・工事完了後は工事ヤード部分の整地を行うこと。
 - ・車止めポールは工事中、責任をもって保管すること。

【 凡 例 】

○ — ○	ガードフェンス H=1.800 フェブライト共
AAAAAAAAA /VVVVVVVV\	キャスターゲート (W=3.0, H=1.8)
□ — □	カーブーン
(カ)	交通誘導員B(スポット)
⊠	くさび緊結足場W600+養生シート
— ● —	単管一本足場+防音シート

工事名	十日市公園トイレ改築工事	No.	A-11
図面名	仮設計画図 (参考)	縮尺	1/300
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年4月	担当	承認
課長	課長補佐	係長	課員



東立面図 S=1/50

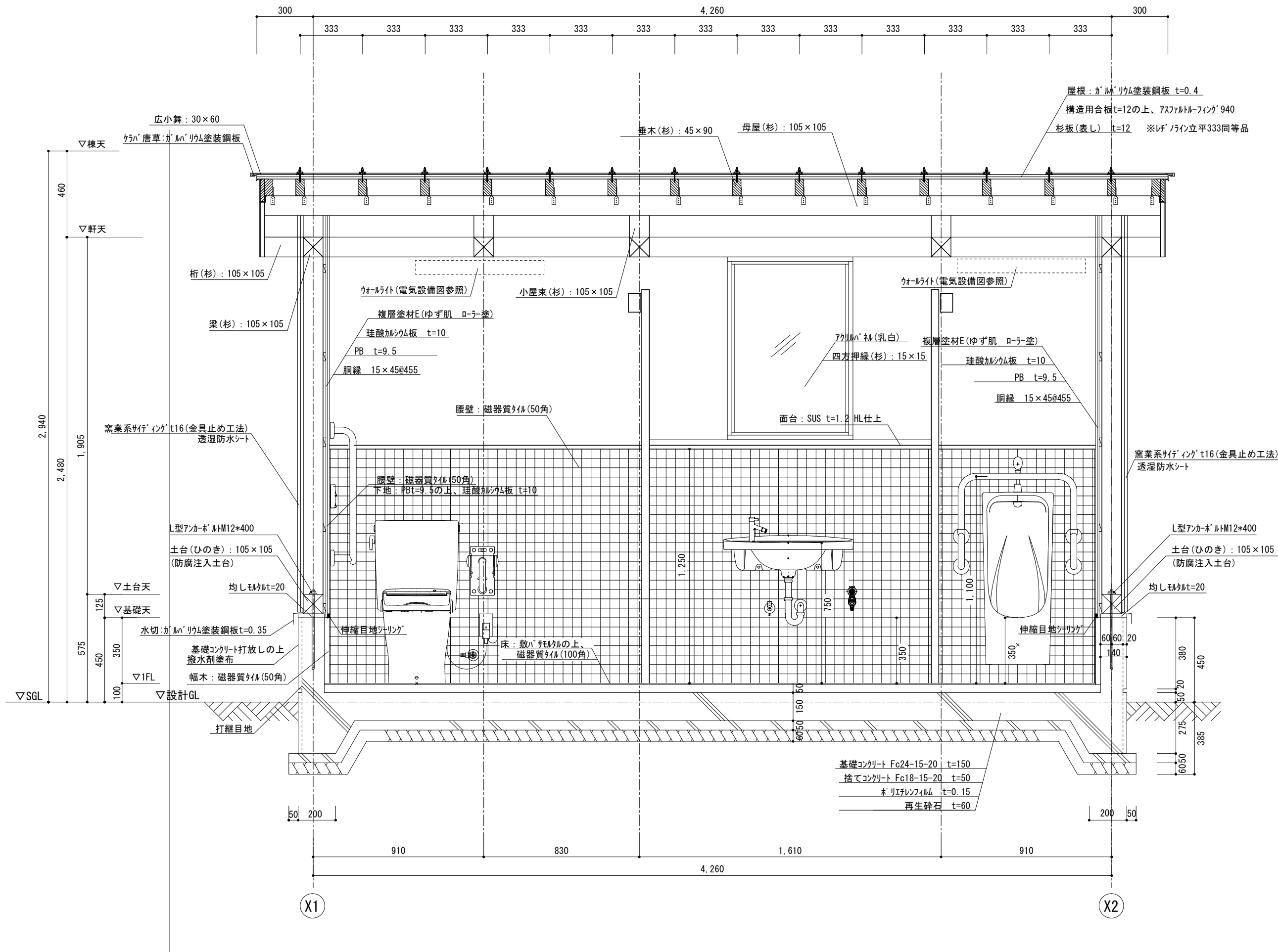
北立面図 S=1/50

西立面図 S=1/50

南立面図 S=1/50

※ピクトグラムの表示面の中心高さはGLから1250(1350)程度とする。

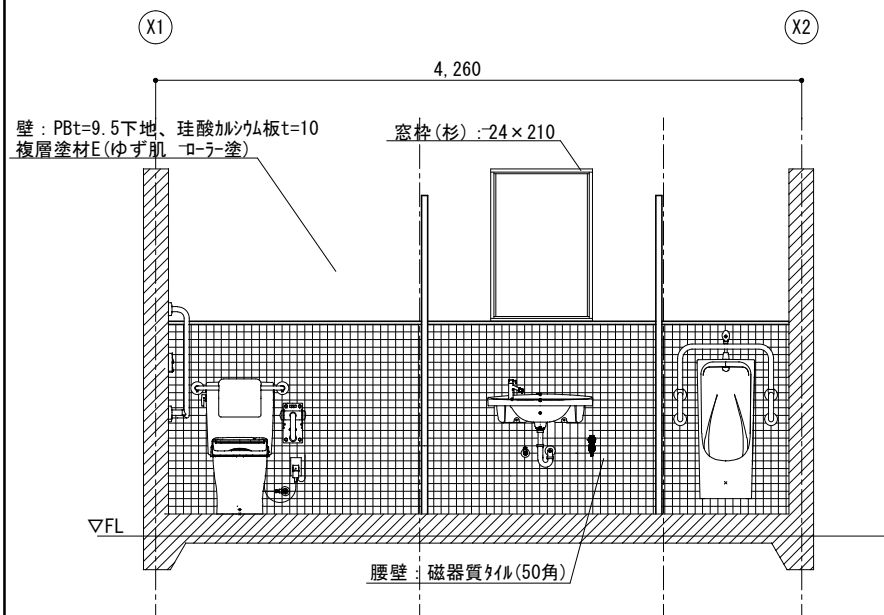
工事名	十日市公園トイレ改築工事			No.	A-13	
図面名	立面図	縮尺	1/50	A-19		
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	担当	承認
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印



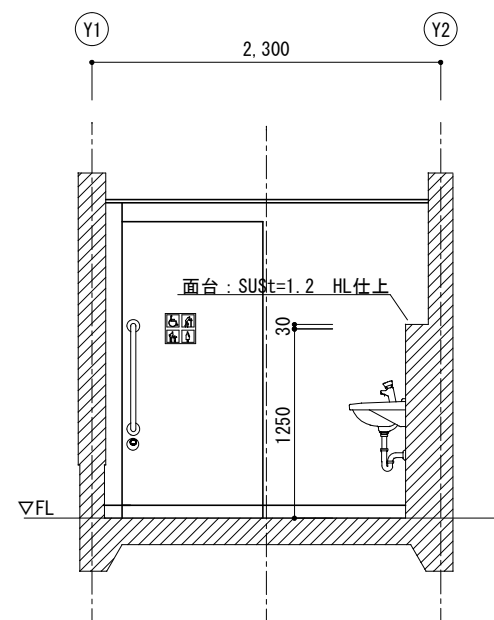
※衛生器具の壁取付部は必要な下地補強すること
 ※屋根、土台水切等板金切断部は錆止め処理とする。
 ※土台・柱・間柱・筋交等のGLから1m以内の木部には防腐・防蟻処理を施す
 ※木見え掛かり部全面WP塗装(窓枠共)

矩計図 2 S=20

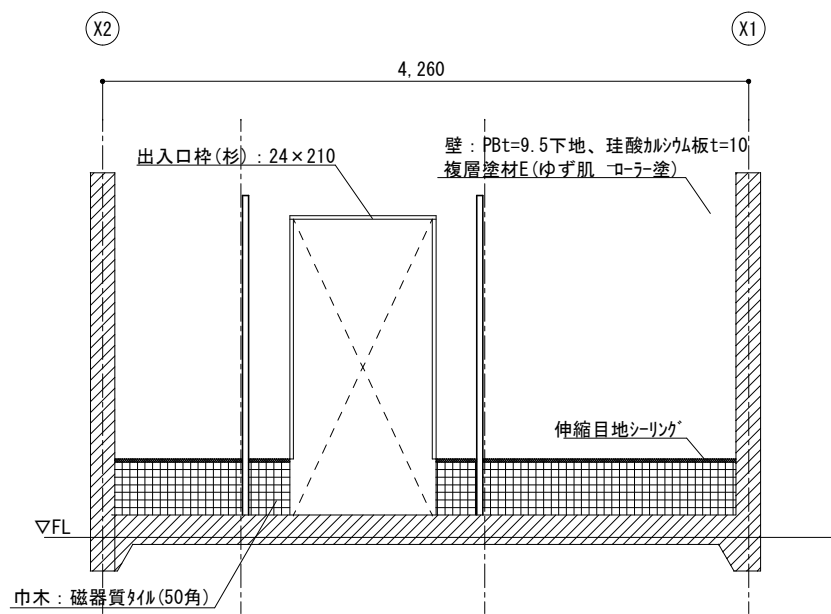
工事名	十日市公園トイレ改築工事			N.0.	
図面名	矩計図 2	縮尺	1/20	A-15	
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	A-19
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認
					機関
					製図



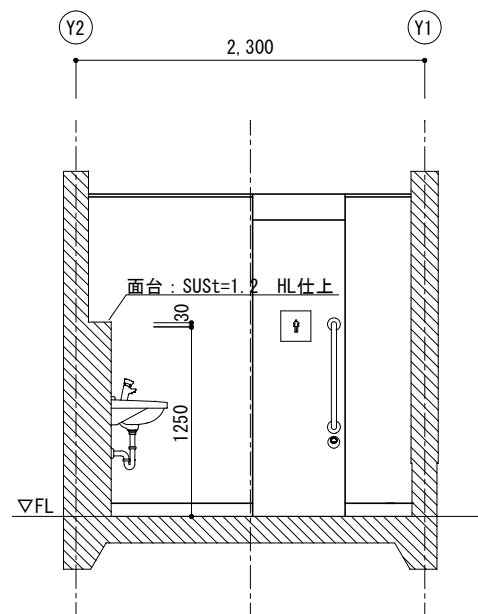
A面展開図 S=1/50



B面展開図 S=1/50

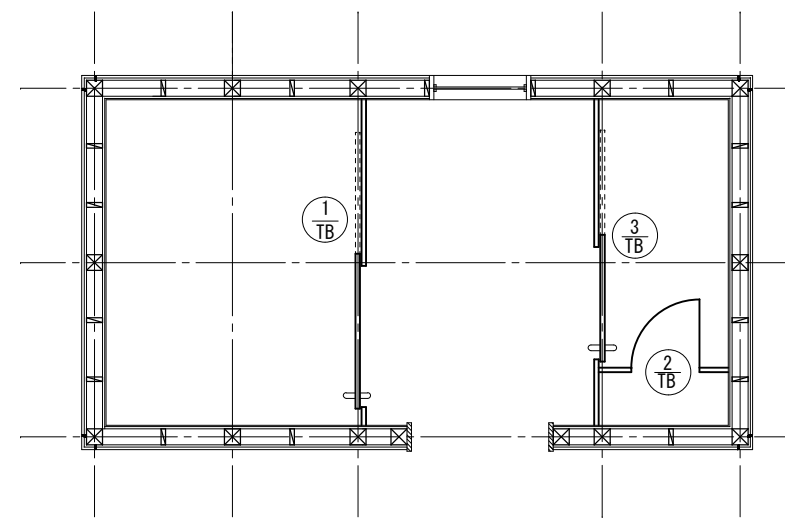
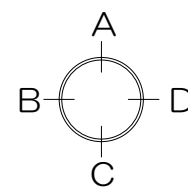


C面展開図 S=1/50



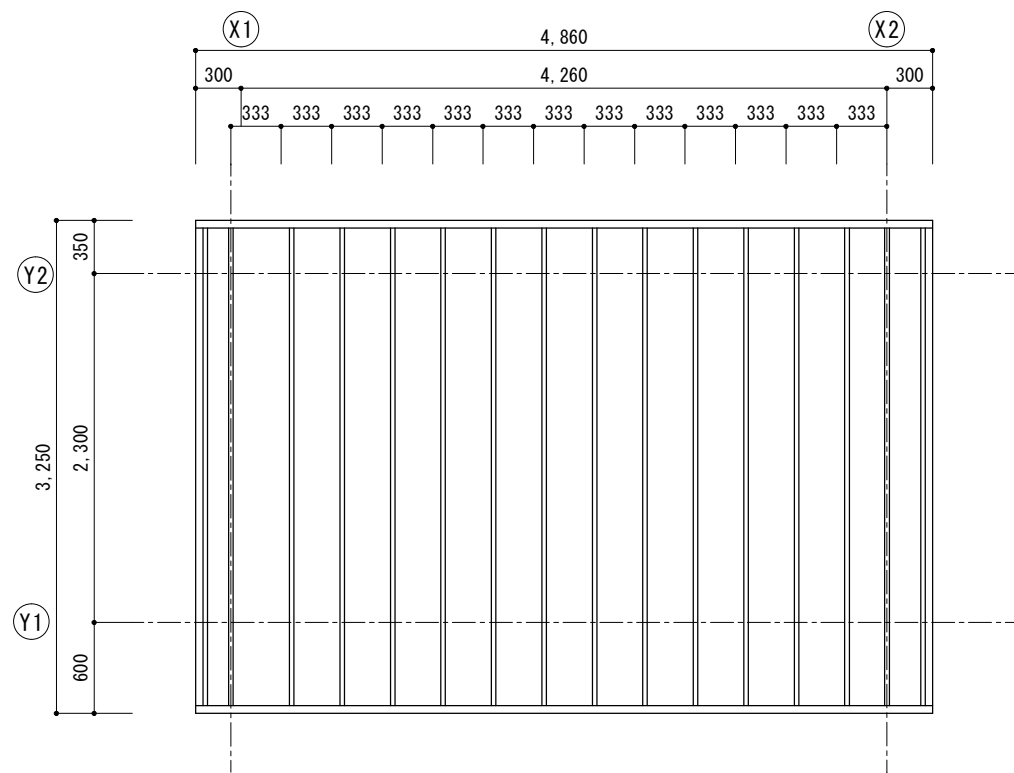
D面展開図 S=1/50

記号	① TB 1	トイレブース	② TB 2	トイレブース	③ TB 3	トイレブース
形状・寸法						
材種・仕上	<扉>メラミン樹脂化粧板貼t40 裏打ち材付き へーパ-17 <固定パネル>メラミン樹脂化粧板貼t30 パーティクルボード又はMDF下地		メラミン樹脂化粧板貼t30 パーティクルボード又はMDF下地		<扉>メラミン樹脂化粧板貼t40 裏打ち材付き へーパ-17 <固定パネル>メラミン樹脂化粧板貼t30 パーティクルボード又はMDF下地	
付属金物	SUS巾木 アルミ笠木 ドア四方アルミエッジ 引戸ハドルSUS 表示錠(非常時解錠付き) 建具金物一式		SUS巾木 アルミ笠木 ドア四方アルミエッジ 引戸SUS シリダ-錠(共通キ) 建具金物一式		SUS巾木 アルミ笠木 ドア四方アルミエッジ 引戸ハドルSUS 表示錠(非常時解錠付き) 建具金物一式	
その他	壁取合部シーリング ピクトグラム(カットイングシート 200×200) (表示面の中心は床面から1250(1350)程度)		壁取合部シーリング		壁取合部シーリング ピクトグラム(カットイングシート 200×200) (表示面の中心は床面から1250(1350)程度)	

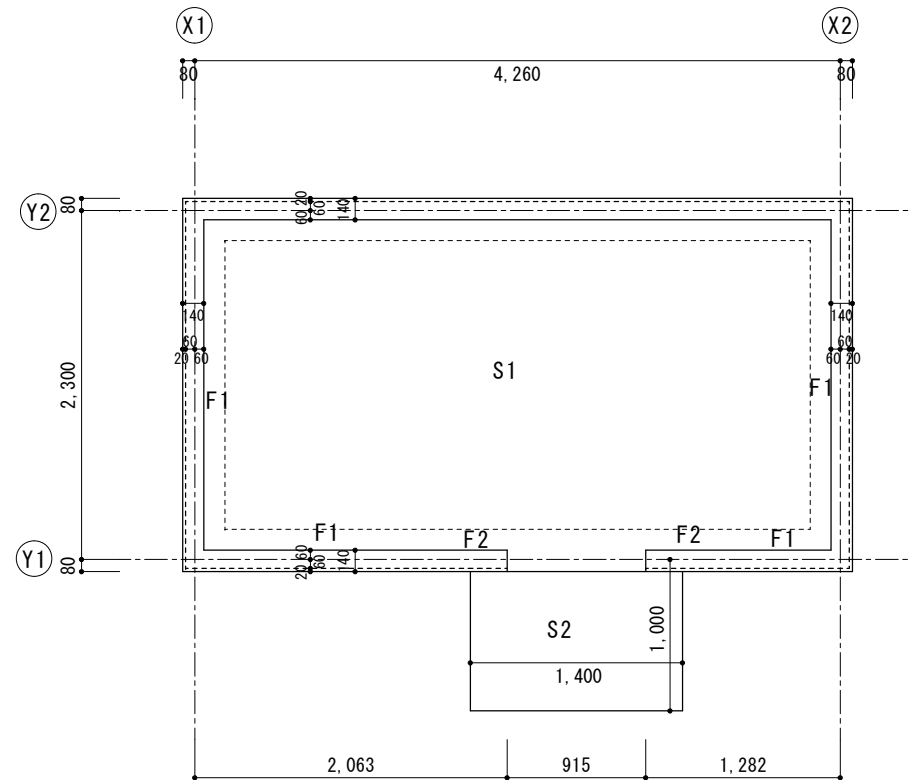


建具キープラン S=1/50

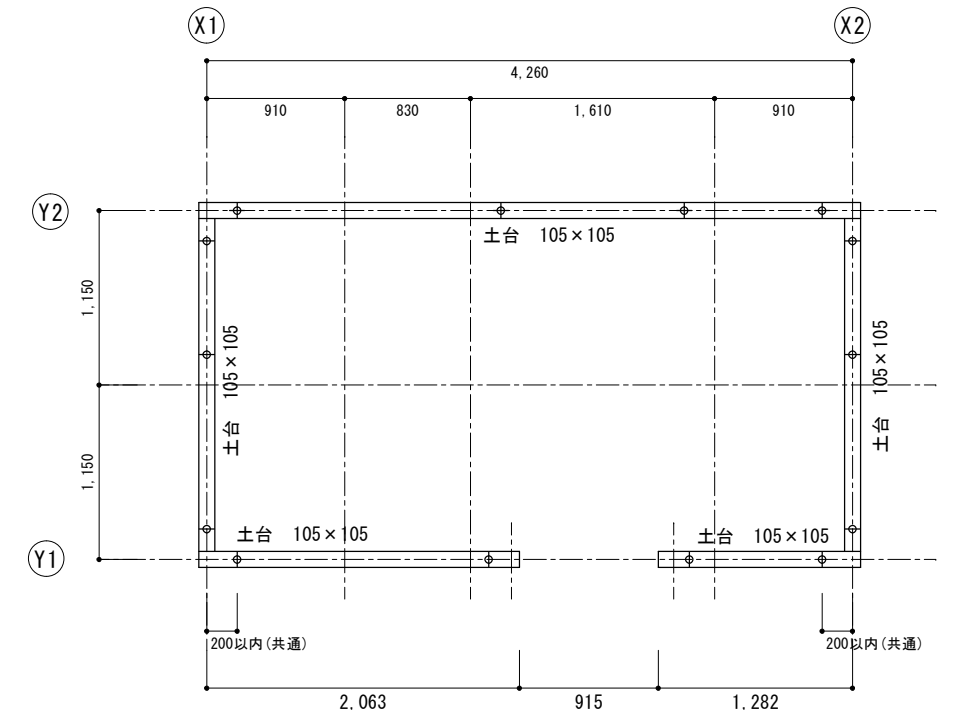
工事名	十日市公園トイレ改築工事				N. No.	A-16	
図面名	展開図 建具リスト				縮尺	1/50	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年4月				A-19		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



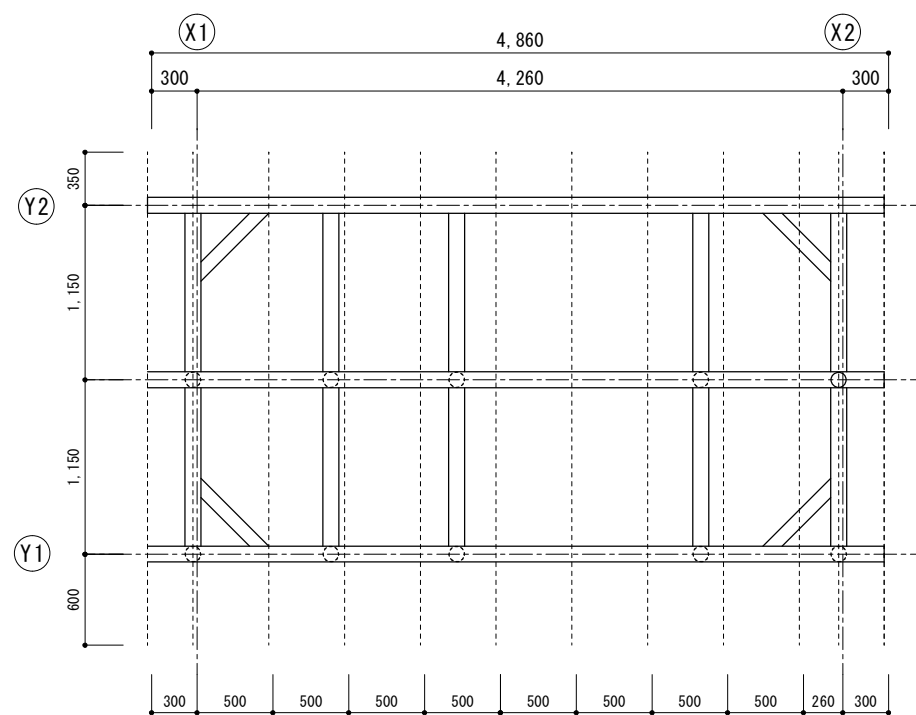
屋根伏図 S=1/50



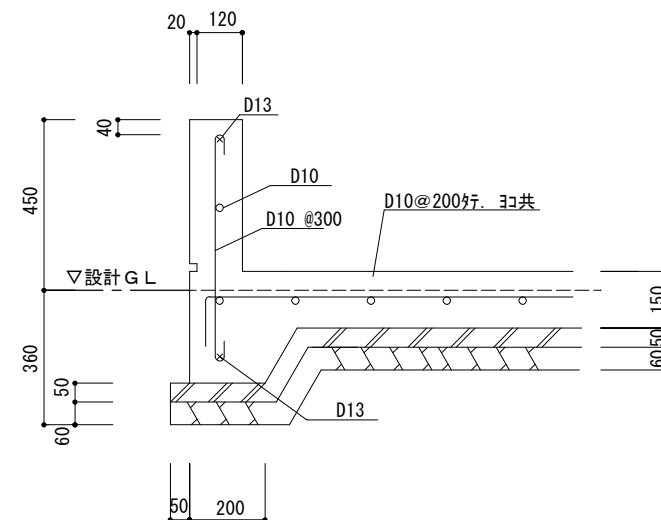
基礎伏図 S=1/50



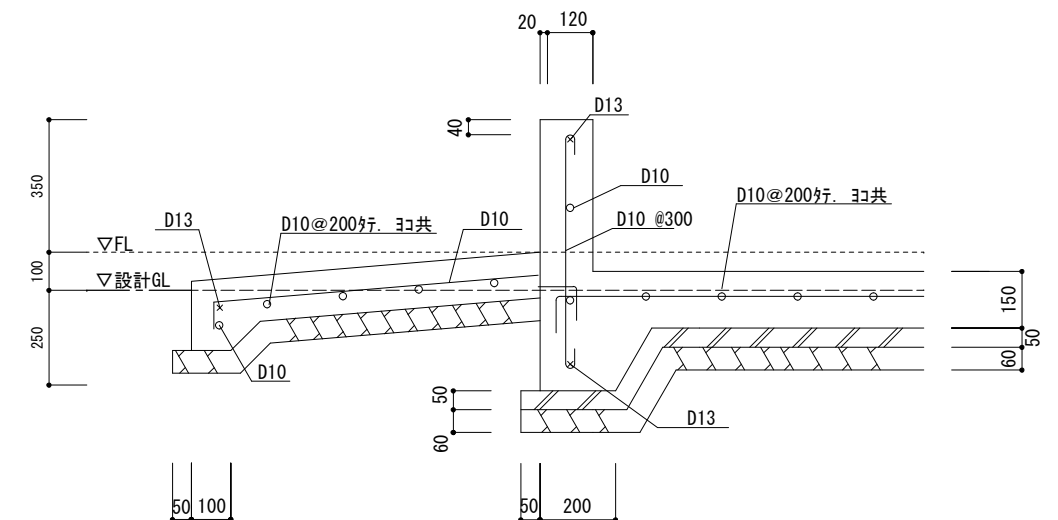
土台伏図 S=1/50



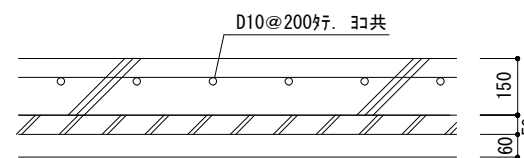
小屋伏図 S=1/50



F1 詳細図 S=1/20



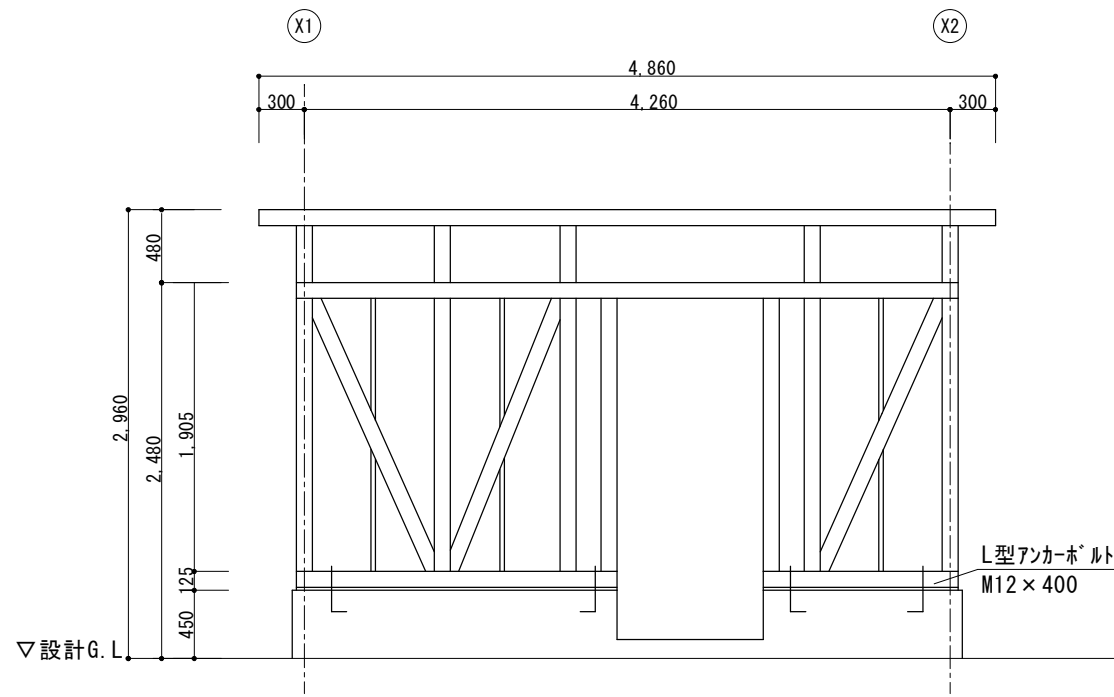
F2・S2 詳細図 S=1/20



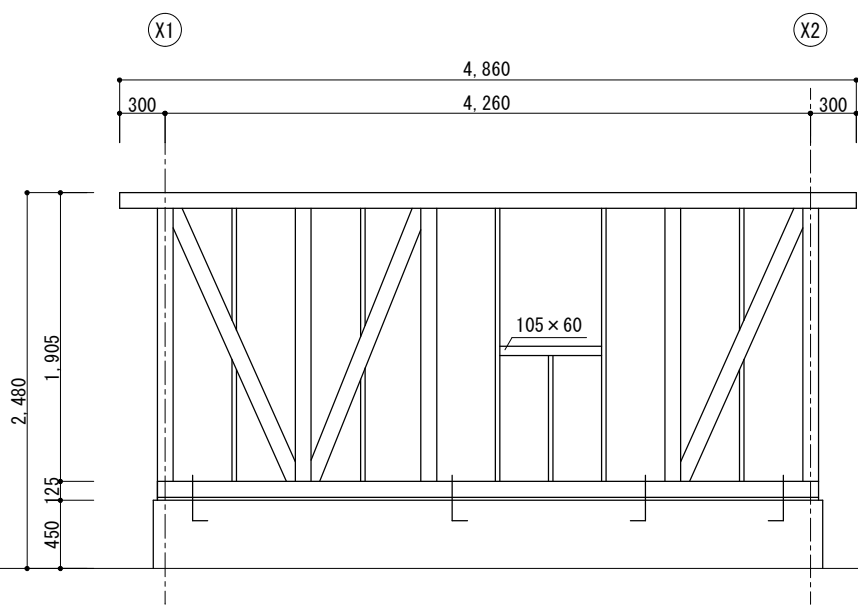
S1 詳細図 S=1/20

凡例
 ----- 垂木：杉 45×90
 ○ 小屋束：杉 105×105
 火打梁：杉 90×90
 ※構造材は一等材とし、寸法は抜き立て寸法とする。

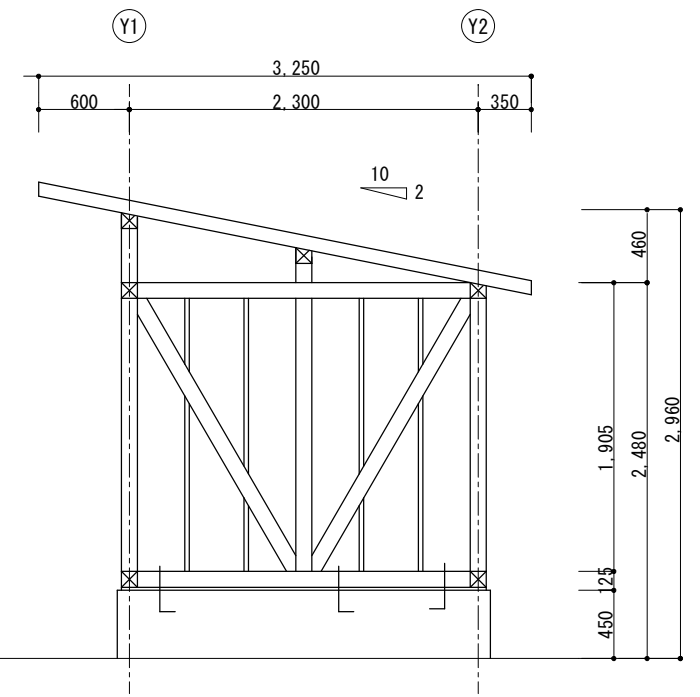
工事名	十日市公園トイレ改築工事			N o.	
図面名	伏図・詳細図		縮尺	1/20, 1/50	A-17
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	A-19
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認
					機関
					製図



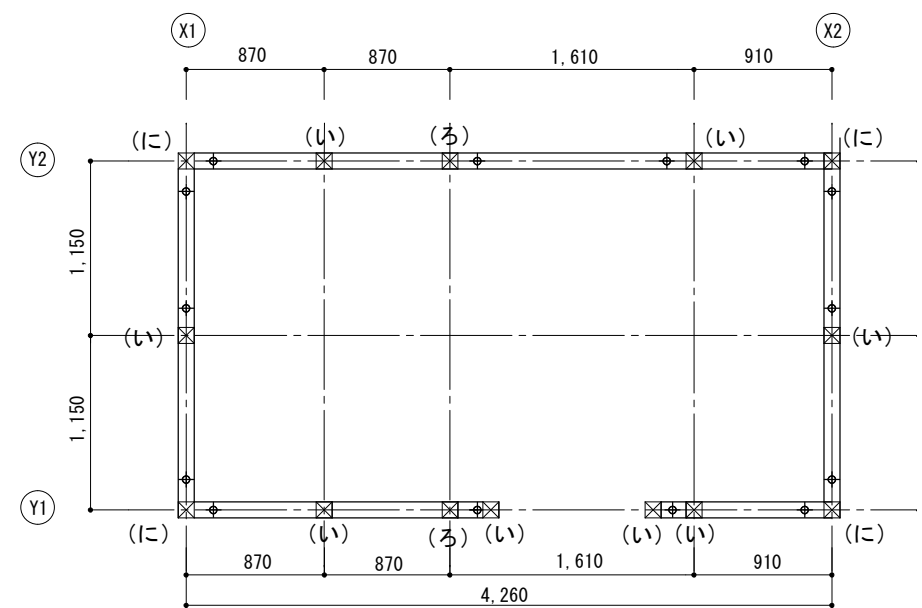
Y1 通軸組図 S=1/50



Y2 通軸組図 S=1/50



X1 X2 通軸組図 S=1/50



柱頭柱脚金物仕様位置図 S=1/50

柱頭柱脚接合補強金物（建築基準法平12建告1460号）

符号	仕様	必要耐力 (kN)
(い)	短ほぞ差し 又は かすがい	0.0
(ろ)	かど金物	3.4
(は)	山形プレート	5.1
(に)	羽子板ボルト 又は 短冊金物	7.5
(ほ)~(ぬ) : (略)		
上記仕様について、耐力上同等品(ただし認定品)に替えることは可とする		

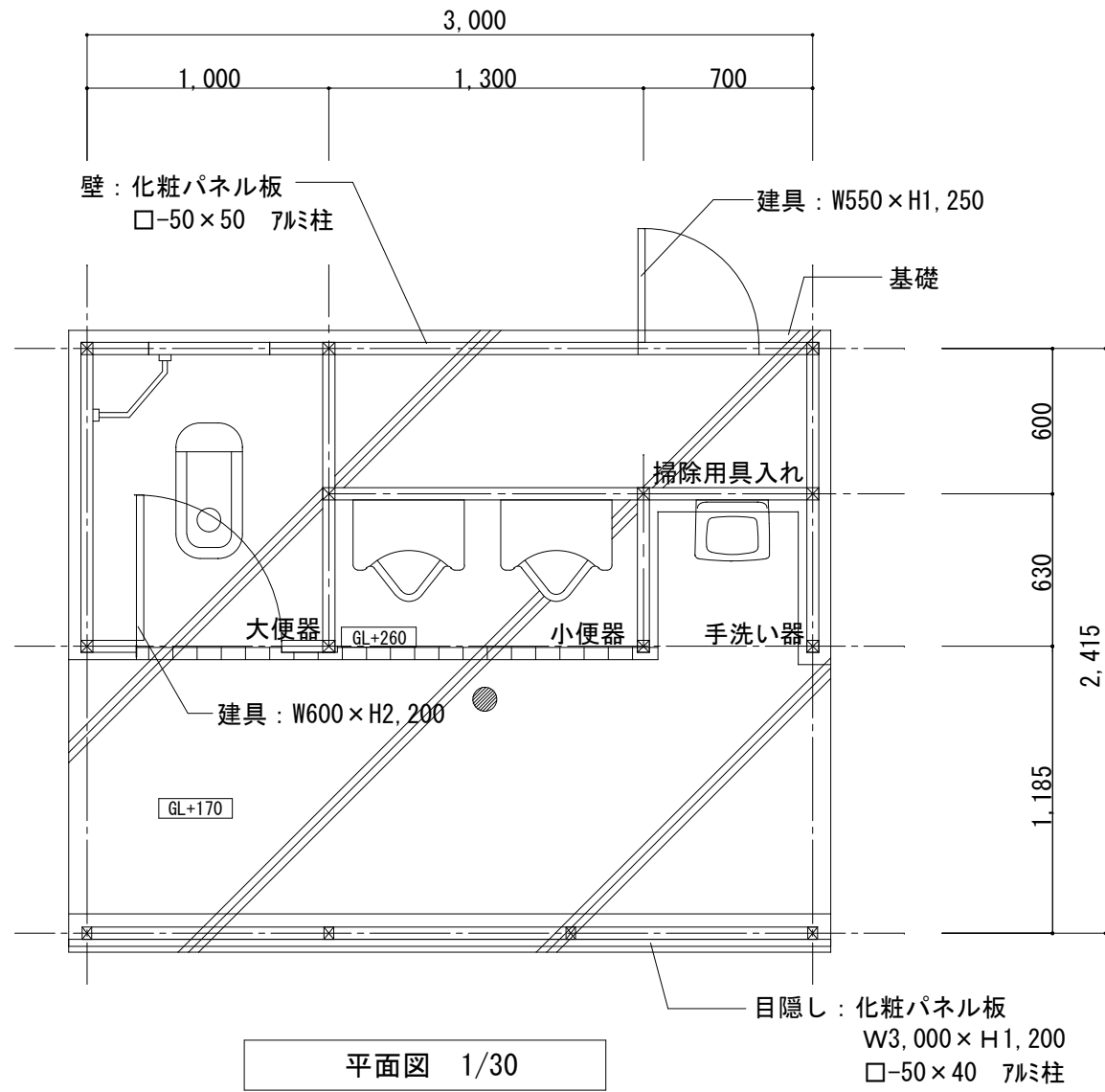
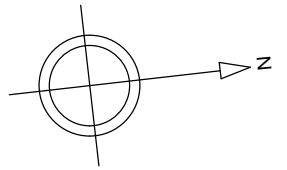
【部材リスト(構造材)】

土台(ひのき)	: 105×105 (防腐注入土台)
柱(杉)	: 105×105
間柱(杉)	: 30×105
筋交(杉)	: 35×105
梁(杉)	: 105×105
桁(杉)	: 105×105
母屋(杉)	: 105×105
棟木(杉)	: 105×105
束(杉)	: 105×105
垂木(杉)	: 45×90
火打梁(杉)	: 90×90

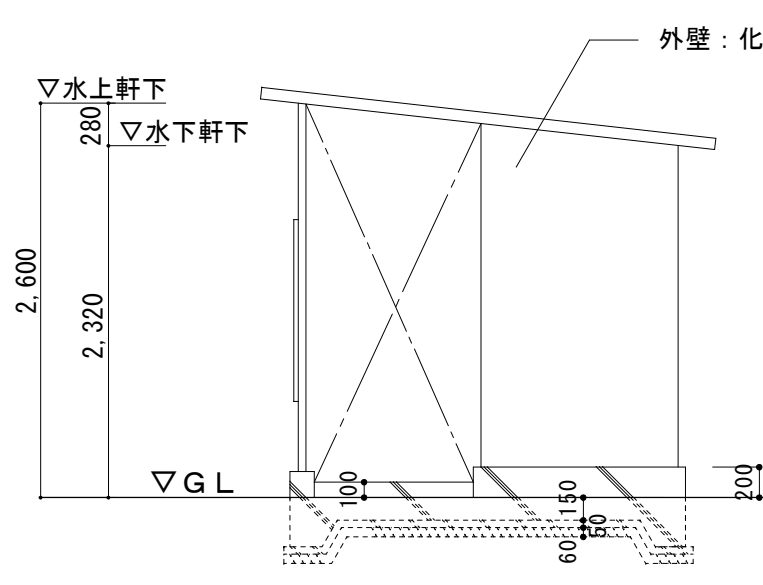
【特記事項】

- ※木材は県産材(地域材)の使用を原則とする。
- ※構造材は一等級とし、寸法は挽き立て寸法とする。
- ※造作材はかな掛け仕上げとし、寸法は仕上がり寸法とする。
- ※仕上材見掛り部のみ、木材保護塗料2回塗りとする。
- ※土台・柱・間柱・筋交等のGLから1m以内の木部には防腐・防蟻処理を施すこと。
- ※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする
- ※接合金物は認定金物(Z, S, C, Dマーク表示金物)を使用すること。
- (使用する金物については、材料・取付カ所を明確にした使用承諾願いを事前に提出し、市監督員の承諾を得ること。)

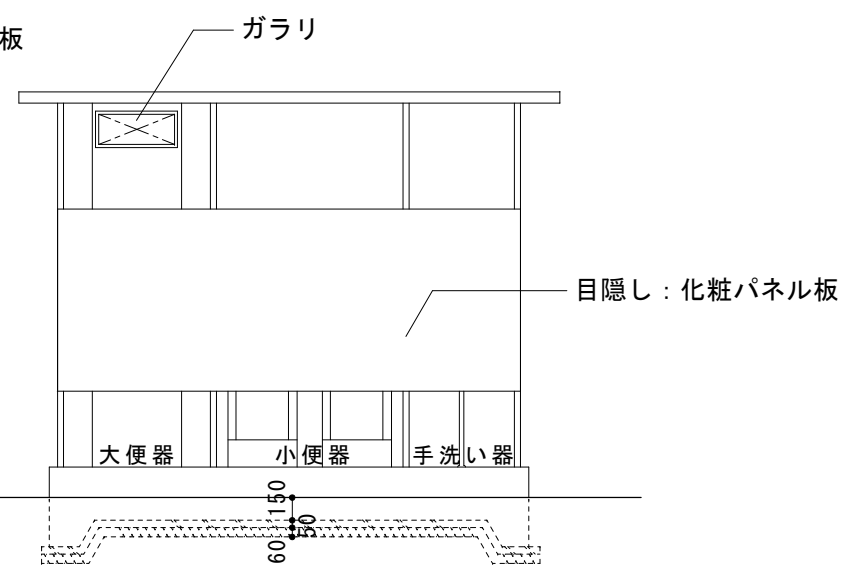
工事名	十日市公園トイレ改築工事			N o.	A-18	
図面名	軸組図・仕口部詳細図	縮尺	1/50	A-19		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月	担当	承認
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印



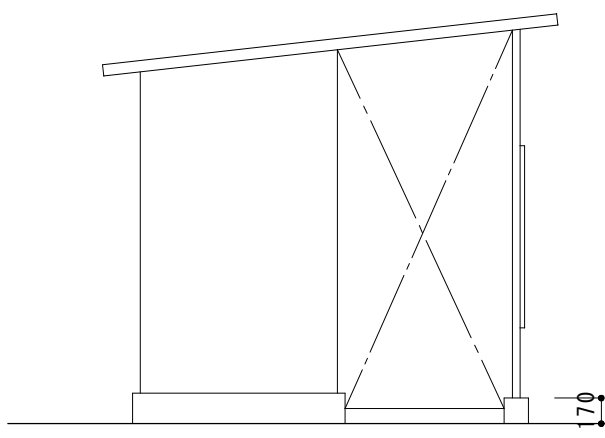
平面図 1/30



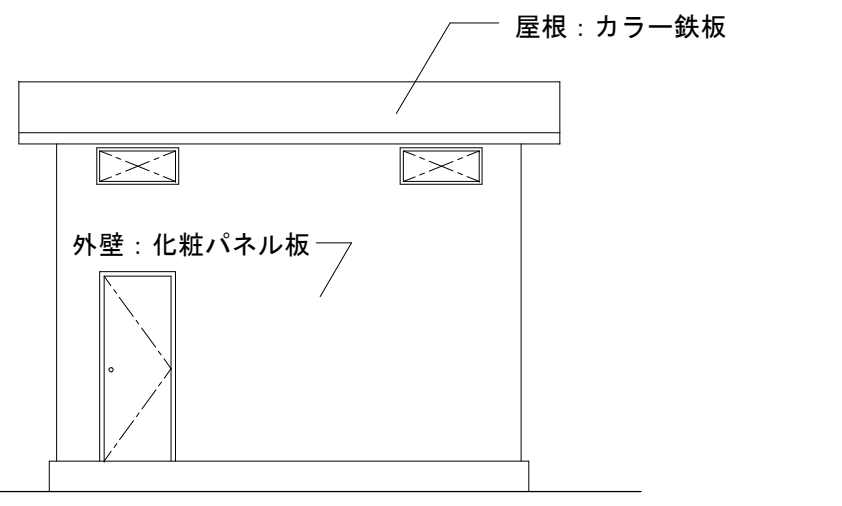
北面立面図 1/50



東面立面図 1/50



南面立面図 1/50



西面立面図 1/50

日軽パブリックトイレ

- 床：モルタル金コテ押え
- 壁：化粧パネル板（アルミサント イッチャ 裨t50）
- 天井：化粧パネル板（アルミサント イッチャ 裨t50）

【特記事項】

・既存トイレは参考図であり、現地で確認を行うこと。

工事名	十日市公園トイレ改築工事				No.	A-19	
図面名	解体図	縮尺	1/30, 1/50		A-19		
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	担当	承認	検印
課長	課長補佐	課長	課員	担当	承認	検印	製図

岡山市建築設備工事（電気）仕様書

I 工事概要

1 工事場所 岡山市北区十日市中町247番地1

2 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 無人・有人, 延べ面積 (㎡), 消防法令別表1, 備考

3 工事種目 (○印のついたものを適用する)

Table with columns: 建物別及び屋外, 工事種別, 工種, 別

II 工事仕様

- 1 共通仕様
2 特記仕様
1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項

Table with columns: 接地点, 埋設表示, 再使用機器, 補修など, 露出配管の塗装仕様, 屋外露出配管の仕上げ, 耐震措置, 並列, 並上, 分電盤

Table with columns: 工事範囲, 配線器具, 照明器具, 非常用照明的測定, 照明制御の照度測定, 照度測定, 照明器具の接地, 照度測定, 動力設備, 受変電設備

Table with columns: 工事範囲, 配線器具, 照明器具, 非常用照明的測定, 照明制御の照度測定, 照度測定, 動力設備, 受変電設備

Table with columns: 発電設備, 太陽光発電設備

Table with columns: 雷保護設備, 構内情報通信網設備

Table with columns: 構内交換設備, 映像音響設備

Table with columns: 拡声設備, 情報表示設備

Table with columns: テレビ共同受信設備, インターホン設備

Table with columns: 火災報知設備, 警備配管設備

Table with columns: 構内配電線路

Table with columns: 機器取付高

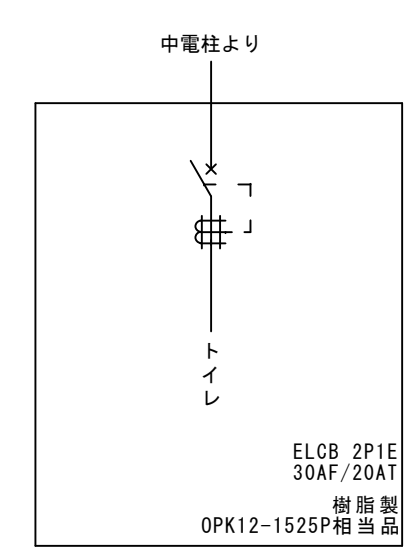
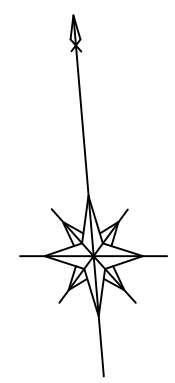
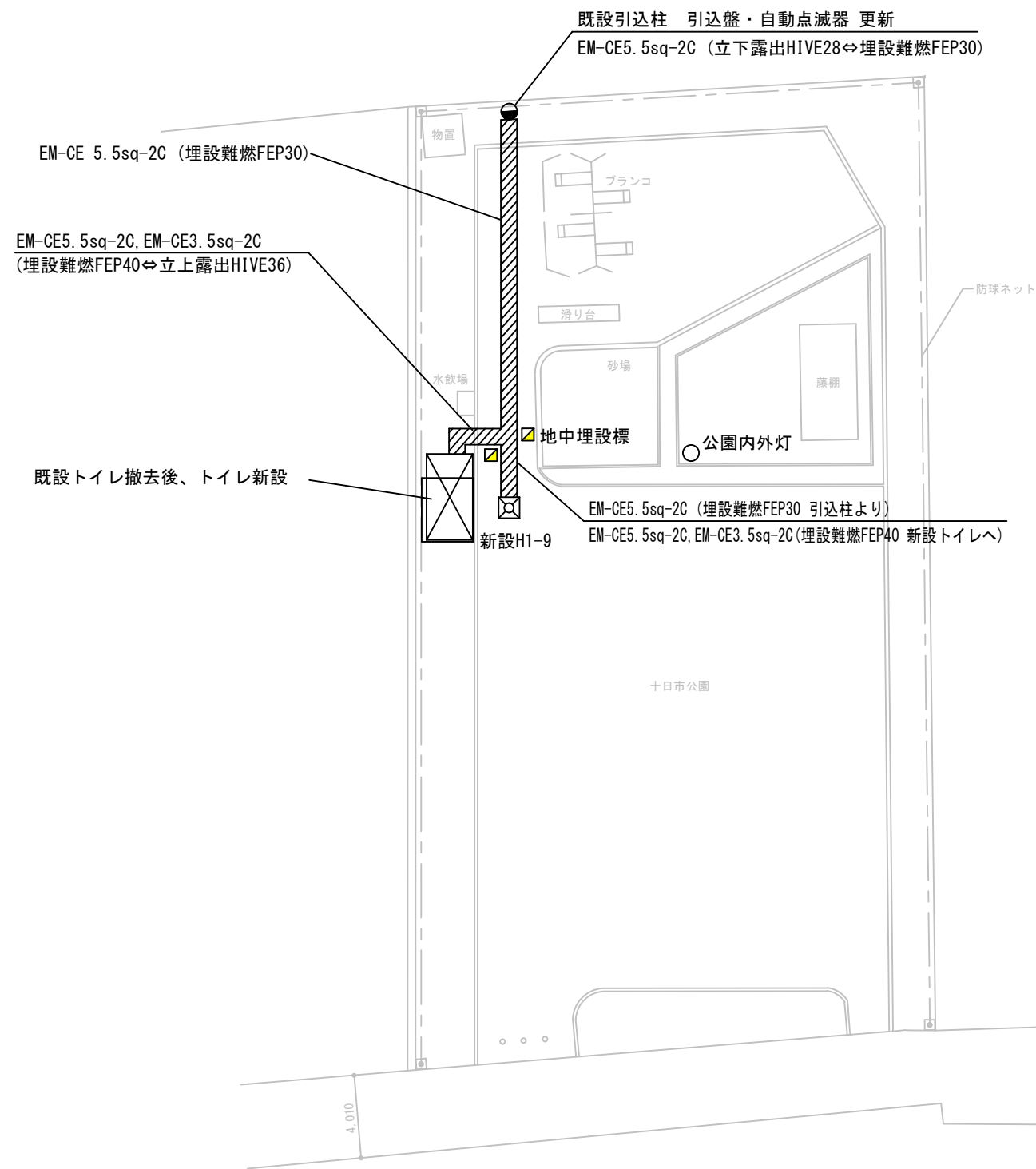
Table with columns: 機器取付高

Table with columns: 機器取付高

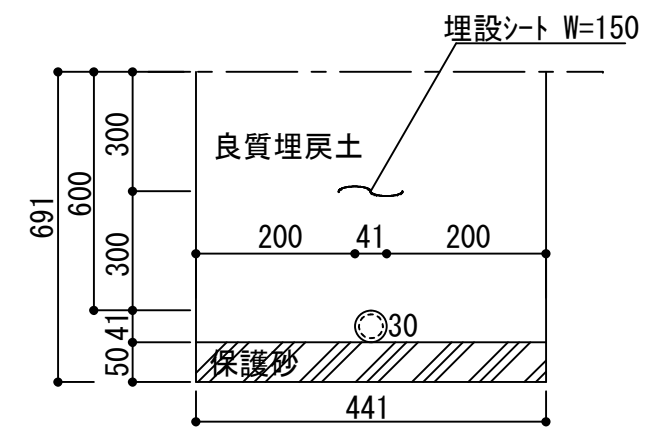
Table with columns: 機器取付高

Table with columns: 機器取付高

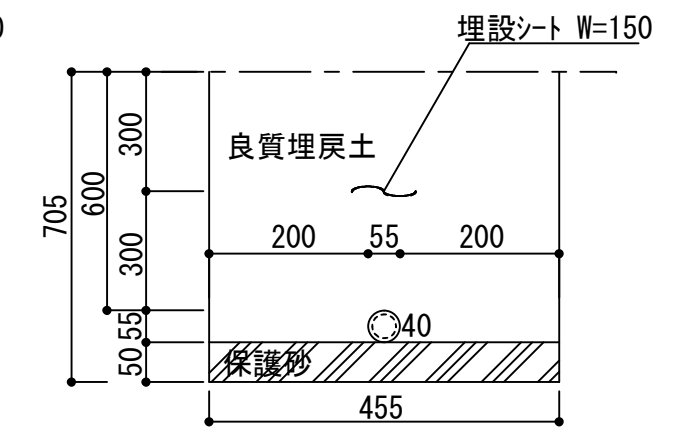
Table with columns: 工事名, 図面名, 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課, No., E-00, E-05



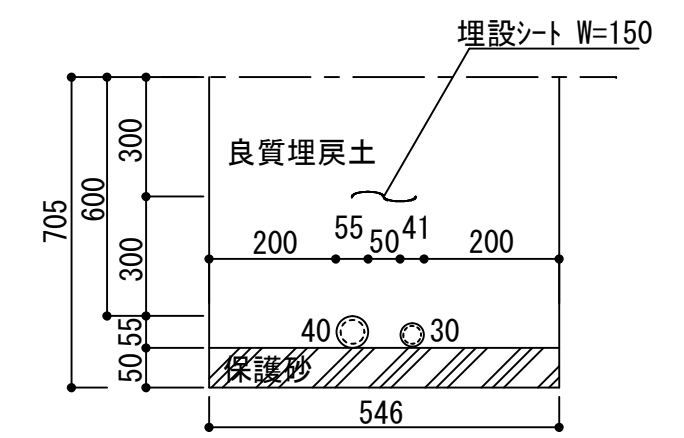
引込盤 参考単線結線図



掘削断面図 (FEP30×1)



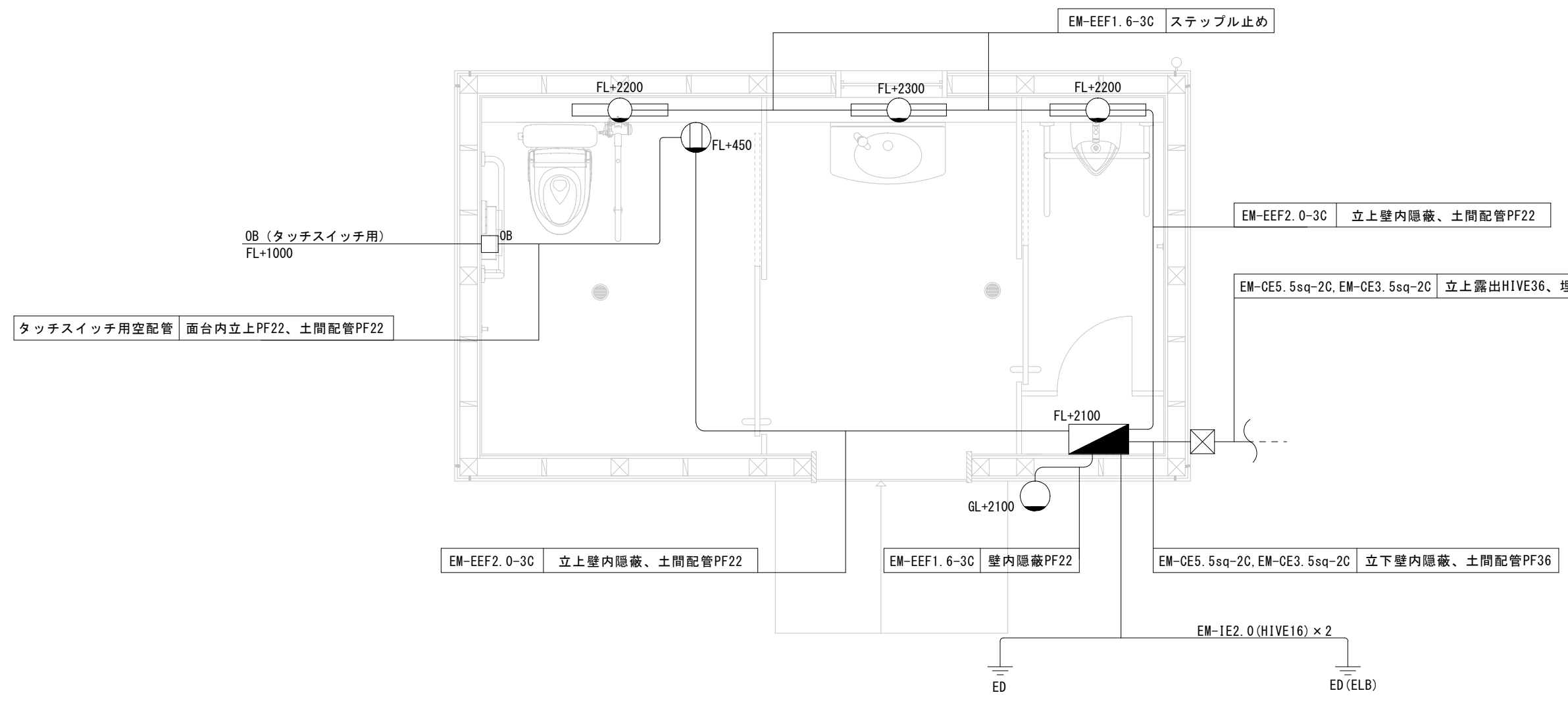
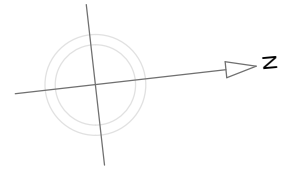
掘削断面図 (FEP40×1)



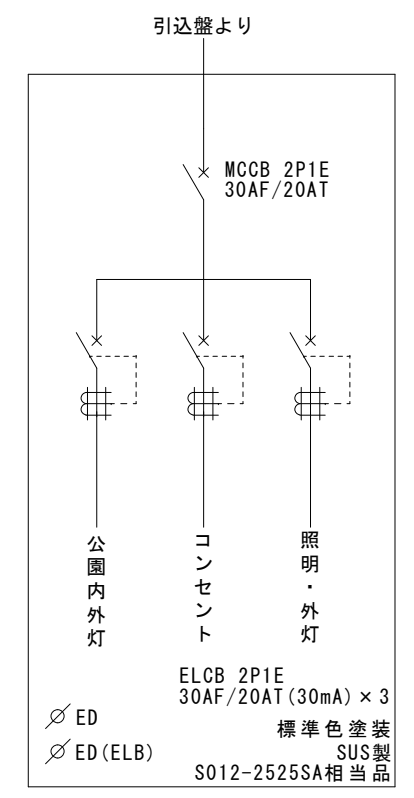
掘削断面図 (FEP30×1, FEP40×1)

電気設備配置図 S=1/300

工事名	十日市公園トイレ改築工事			No.	
図面名	電気設備配置図	縮尺	1/300	E-01	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	E-05
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検図
					製図



平面図 1/30



開閉器箱 参考単線結線図

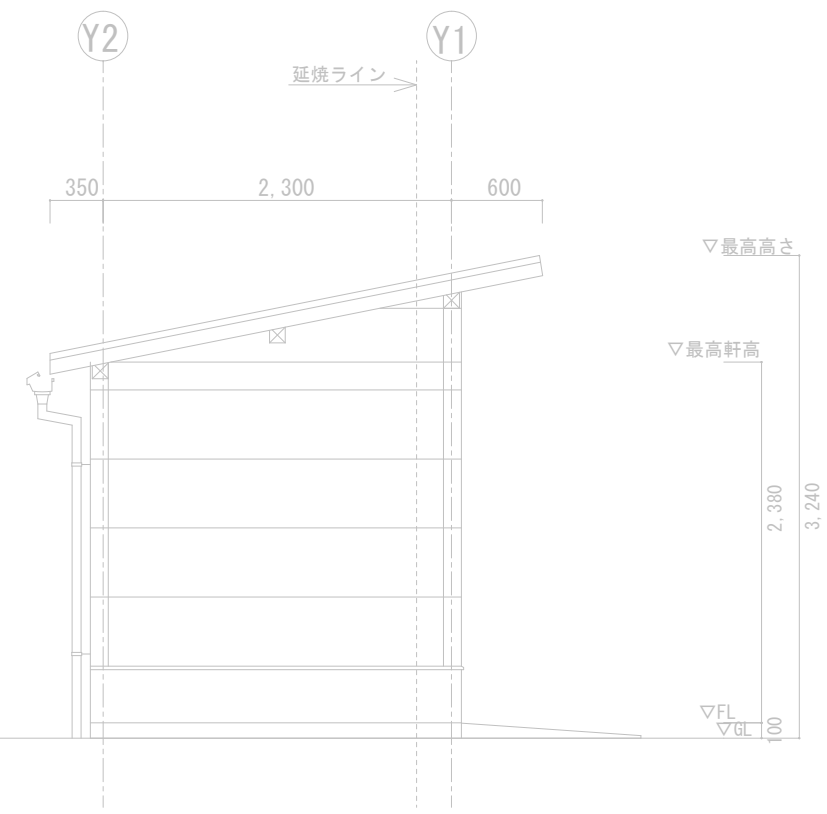
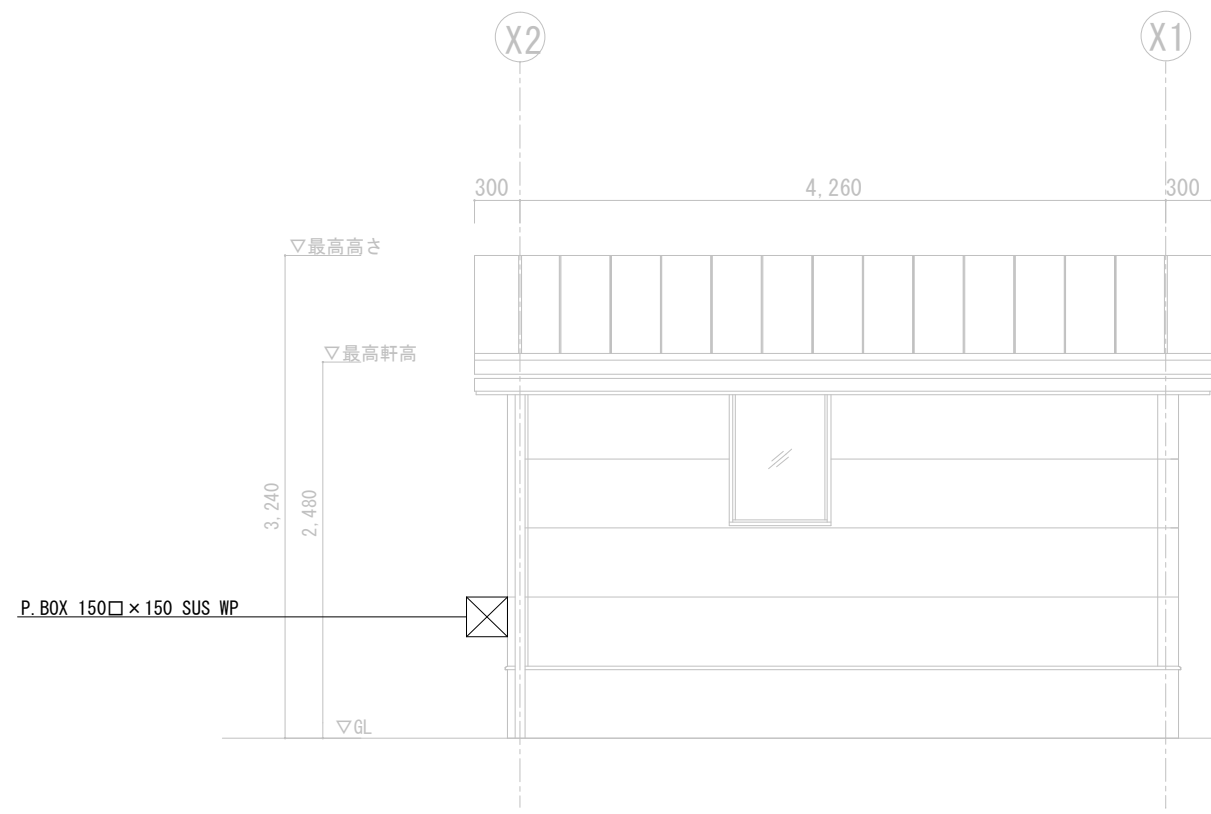
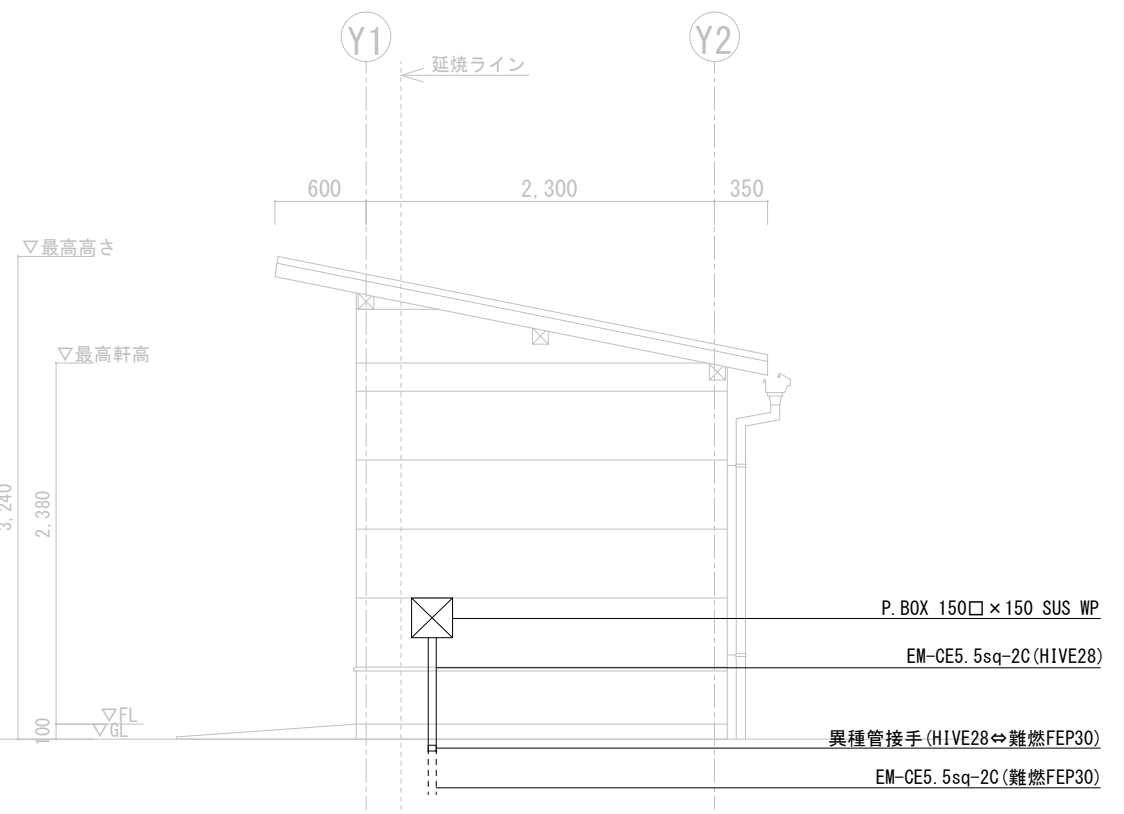
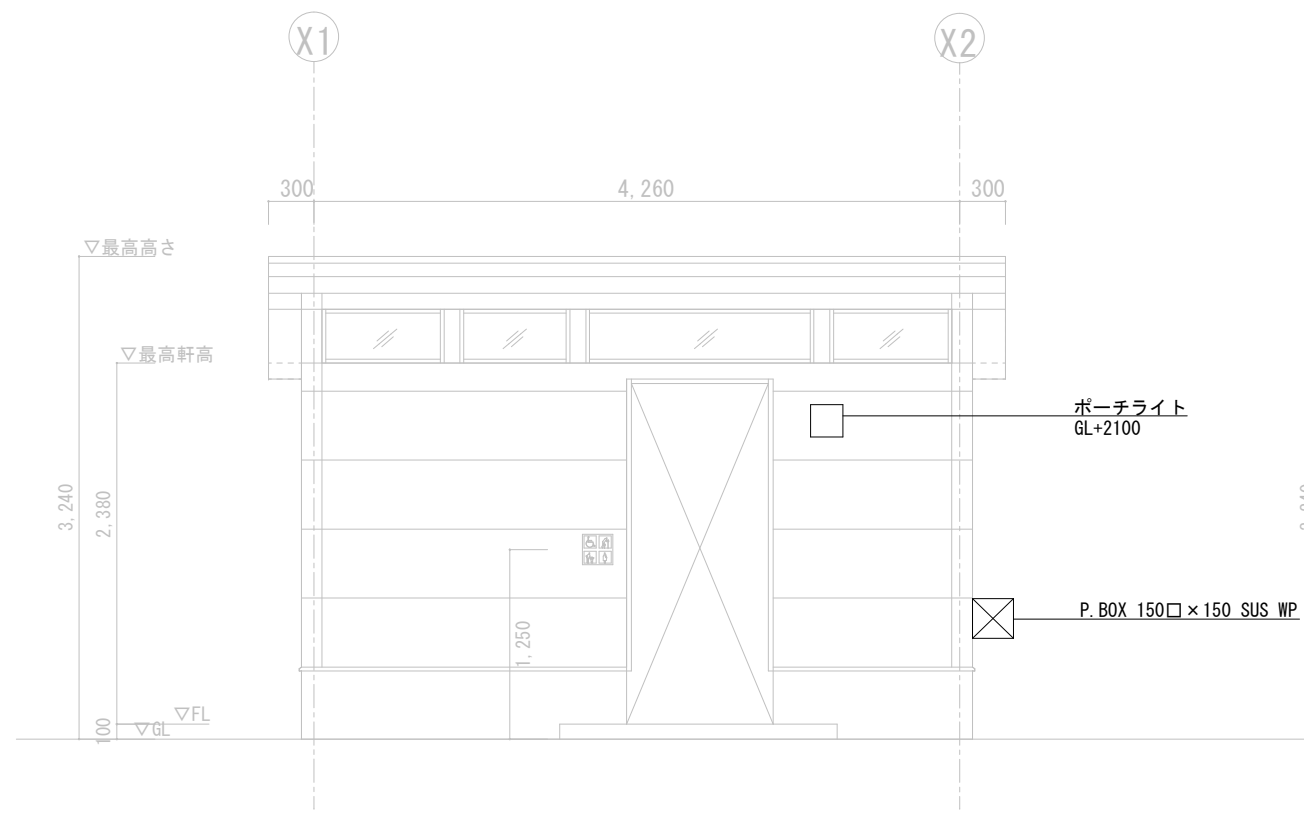
凡例

	照明器具 ウォールライト
	照明器具 ポータライト
	開閉器箱 (一般形) 標準色塗装 参考型番: S012-2525SA 鍵付 SUS製 250×250×120 (鉄製基盤) メーカー市販品可
	便器洗浄ユニット盤 埋込コンセント2P15Ax1 (EET) 収納ボックス 鍵付 SUS製 (H300xW200×D120) 参考型番: S012-23SA
	P. BOX 150□×150 SUS WP
	アウトレットボックス

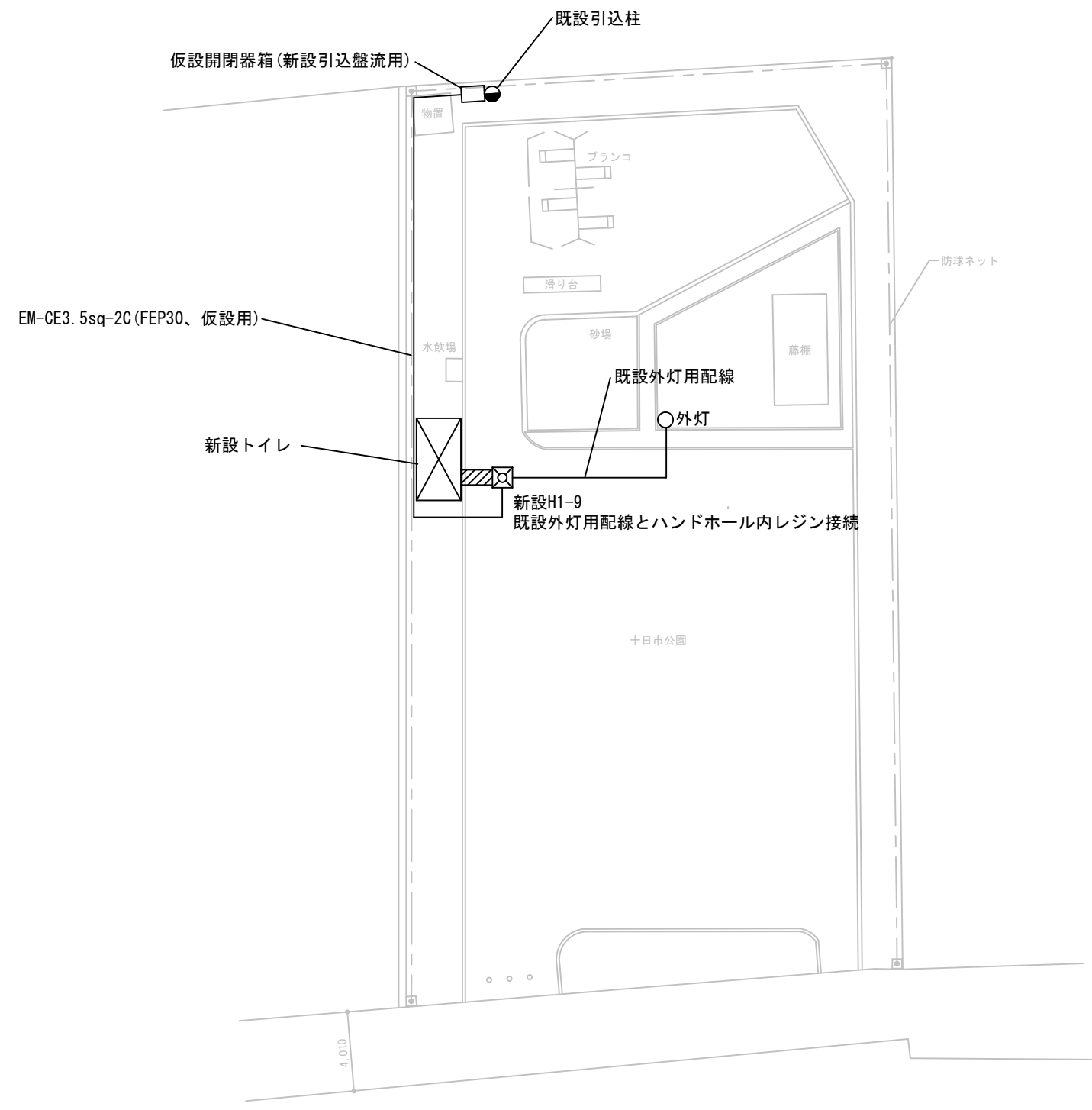
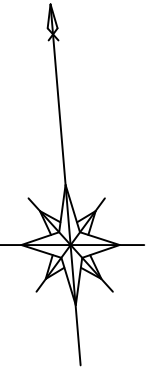
※壁内配線はPF管にて保護すること

照明器具参考図例 S-Free	
<p>ポータライト 40形電球1灯器具相当 参考品番 LGWC80320KLE1</p> <p>5000k</p>	<p>Hf16W1灯器具相当 ウォールライト 参考品番 NNFS21811CLE9</p> <p>5000k</p>
<p>壁直付型、防雨型、明るさセンサ付 器具光束317lm、消費電力7.1W 【設定】「お出迎えモード」とし、お出迎え時間を「明るくなるまで」に設定すること。</p>	<p>防雨型、ひと(熱線)センサ・EEセンサ付 (ON/OFF型) 壁直付型 本体: ステンレス、カバー: ポリカーボネート (乳白) 光源寿命4000時間 器具光束1470lm 【設定】「点灯保持時間」は6分(原則)に設定すること</p>

工事名	十日市公園トイレ改築工事			No.	E-02		
図面名	電気設備平面図	縮尺	1/30	E-05			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年6月	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

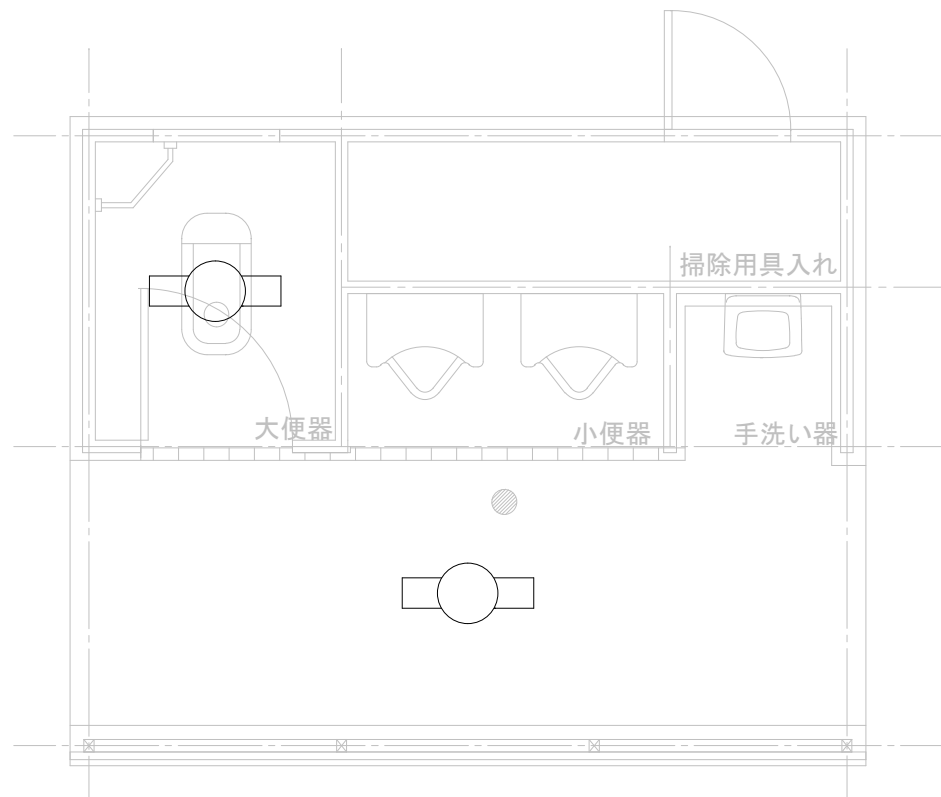
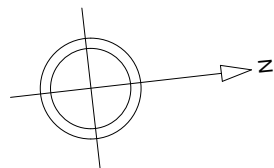


工事名	十日市公園トイレ改築工事				No.			
図面名	電気設備立面図			縮尺	1/50	E-03		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	E-05			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図	



仮設図 S=1/300

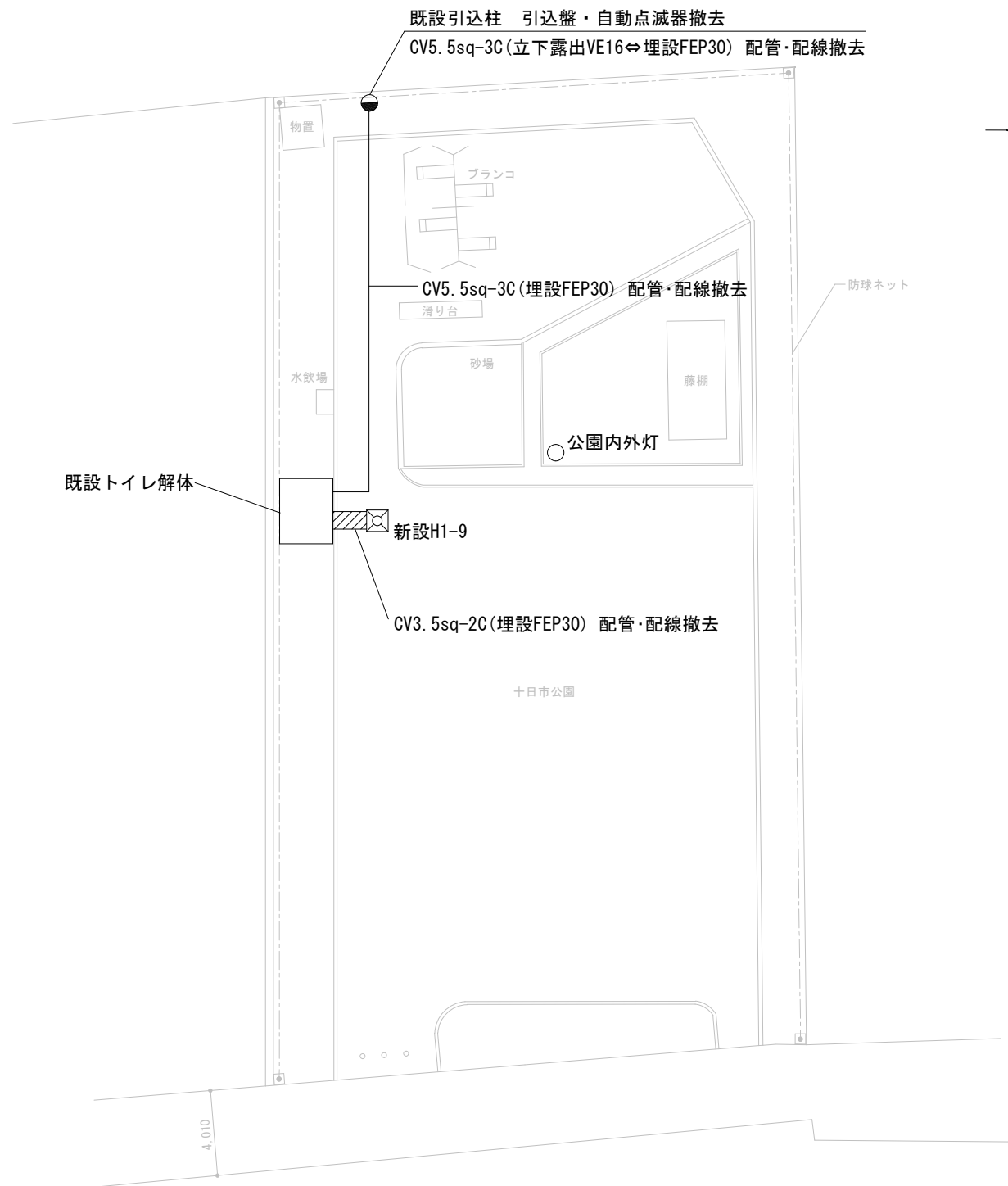
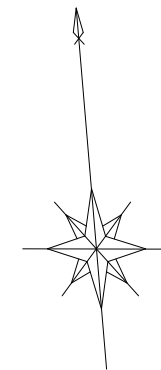
工事名	十日市公園トイレ改築工事			縮尺	1/300	No.	E-04		
図面名	電気設備仮設図			縮尺	1/300	E-05			
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月		担当者	承認	検図	製図
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図		



平面図 1/30

凡例

	照明器具 FL20W×1 撤去
--	-----------------



配置図 1/300

工事名	十日市公園トイレ改築工事				No. E-05	E-05	承認	検図	製図
図面名	電気設備撤去図	冊数	1/30, 1/300						
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年6月					
課長	課長補佐	係長	課員	担当者					

岡山市建築設備工事（機械）仕様書
I 工事概要
1 工事場所
2 建物概要
3 工事種目
II 工事仕様
1 共通仕様
2 特記仕様

項目 特記事項
1 機材
2 主任技術者等の資格
3 工事用電力、水、その他
4 技能士の適用
5 工事用仮設物
6 土工事
7 発生材の処理
8 説明板
9 電気容量及び機器表示
10 負担金
11 電線・電線管
12 機器付属の制御盤
13 塗装

衛生器具設備
1 大便器・小便器
2 洗浄用タンク
3 大便器用洗浄弁
4 温水洗浄便座
5 陶器の色
6 量水器
7 量水器用管
8 ライニング鋼管接続

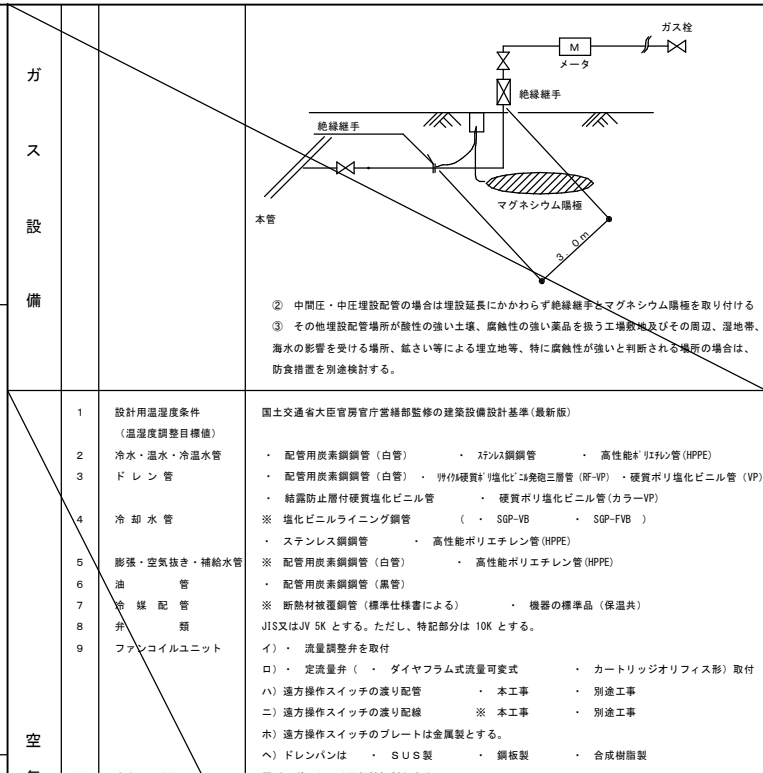
15 重荷載面下地処理
16 防振継手
17 フレキシブルジョイント
18 はつり工事
19 補修など
20 他工事との取合い
21 配管表示
22 土中埋設配管周囲の保護
23 埋設表示
24 支持金物、固定金具等
25 あと施工アンカー
26 ポンプの電動機の極数
27 ポンプの名板
28 保守工具
29 岡山市標準施工
30 耐震措置

給水設備
1 大便器・小便器
2 洗浄用タンク
3 大便器用洗浄弁
4 温水洗浄便座
5 陶器の色
6 量水器
7 量水器用管
8 ライニング鋼管接続

給水設備
1 井類
2 定流量弁
3 水槽周り可とう継手
4 埋設深度
5 ライニング鋼管管端処理
6 散水栓ボックス
7 給水管の使用許可
8 水質基準
9 屋内汚水管
10 屋内雑排水管
11 通気管
12 屋外排水管
13 排水トラップ
14 ます
15 グリーストラップ
16 マンホール横
17 共栓鎖
18 満水試験継
19 洗面台接続
20 プール排水管
21 排水処理先

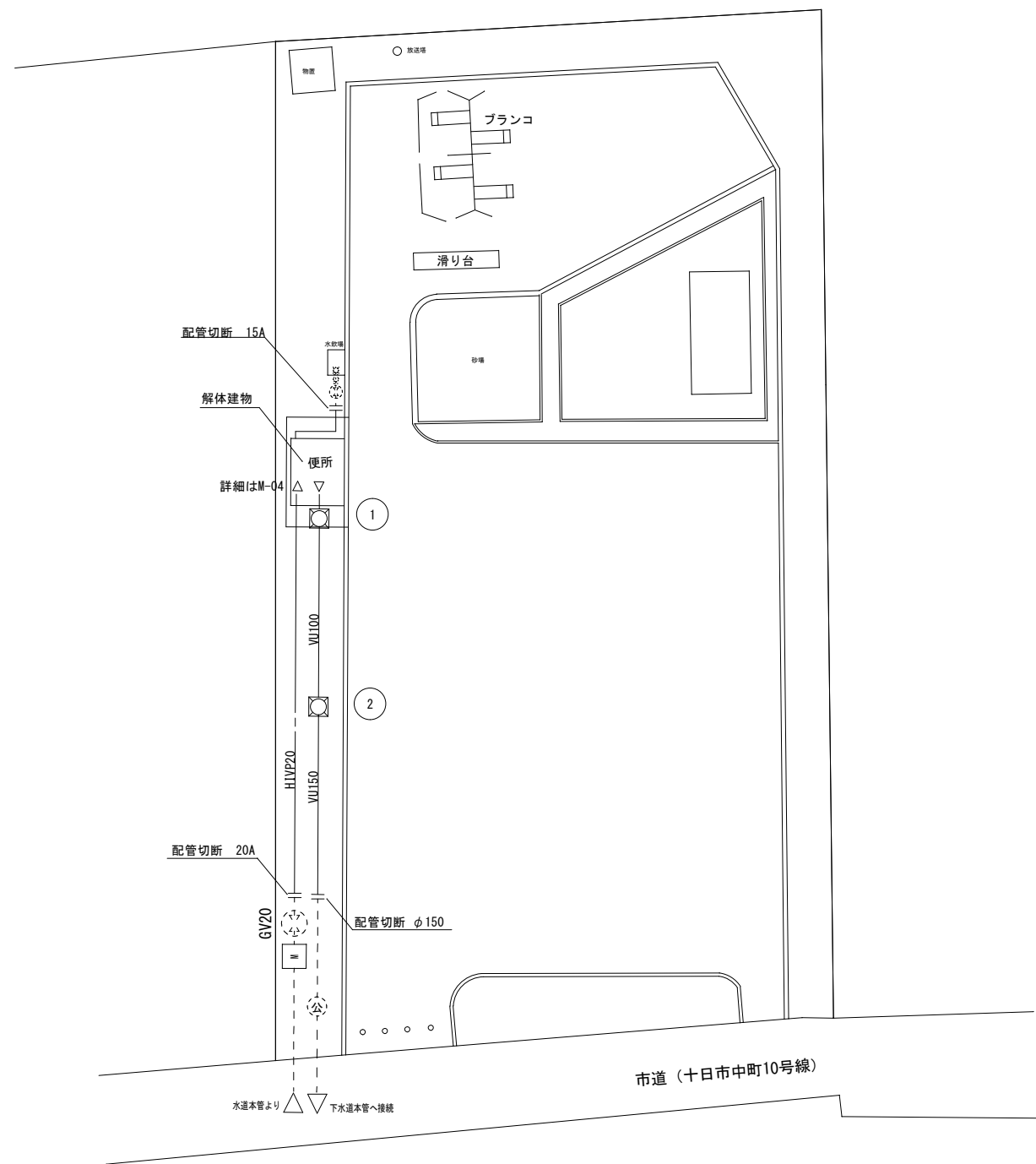
給湯設備
1 管類
2 井類
3 膨張水槽の保温
4 ライニング鋼管管端処理
5 ろ過循環設備
6 循環配管
7 井類
8 保温
9 屋内消火栓箱
10 消火栓弁の耐圧
11 消火栓弁
12 保温
13 フレキシブルジョイント
14 消火ポンプ
15 管類
16 ガスメータ
17 ガスメータの取付
18 緊急遮断弁の取付
19 供給方式
20 ポンプ周りの配管
21 フロン圧縮機や冷凍機
22 ポンプ回転防止
23 管の地中埋設深さ
24 上下対策措置
25 電気防蝕
26 耐震対策設計

ガス設備
1 供給ガスの種類
2 管
3 ガスメータ
4 ガスメータの取付
5 緊急遮断弁の取付
6 供給方式
7 ポンプ周りの配管
8 フロン圧縮機や冷凍機
9 ポンプ回転防止
10 管の地中埋設深さ
11 上下対策措置
12 電気防蝕
13 耐震対策設計



空気調和・冷暖房・換気設備
1 設計用室温度条件
2 冷水・温水・冷温水管
3 ドレン管
4 冷却水管
5 膨張・空気抜き・補給水管
6 油管
7 油媒配管
8 井類
9 ファンコイルユニット
10 吹出口・吸込口
11 ダクト
12 防振・防火ダンパ
13 風量測定口
14 吹出口チャンパ
15 消音内貼り
16 瞬間流量計
17 温度計
18 冷温水管の空気抜き
19 防振吊り金物及び
20 温度調節器・湿度調節器
21 エアフィルタの予備品
22 グリスフィルタの予備品
23 防振基礎
24 冷媒配管の保温カバー
25 保温
26 スリーブ
27 断熱等の処理

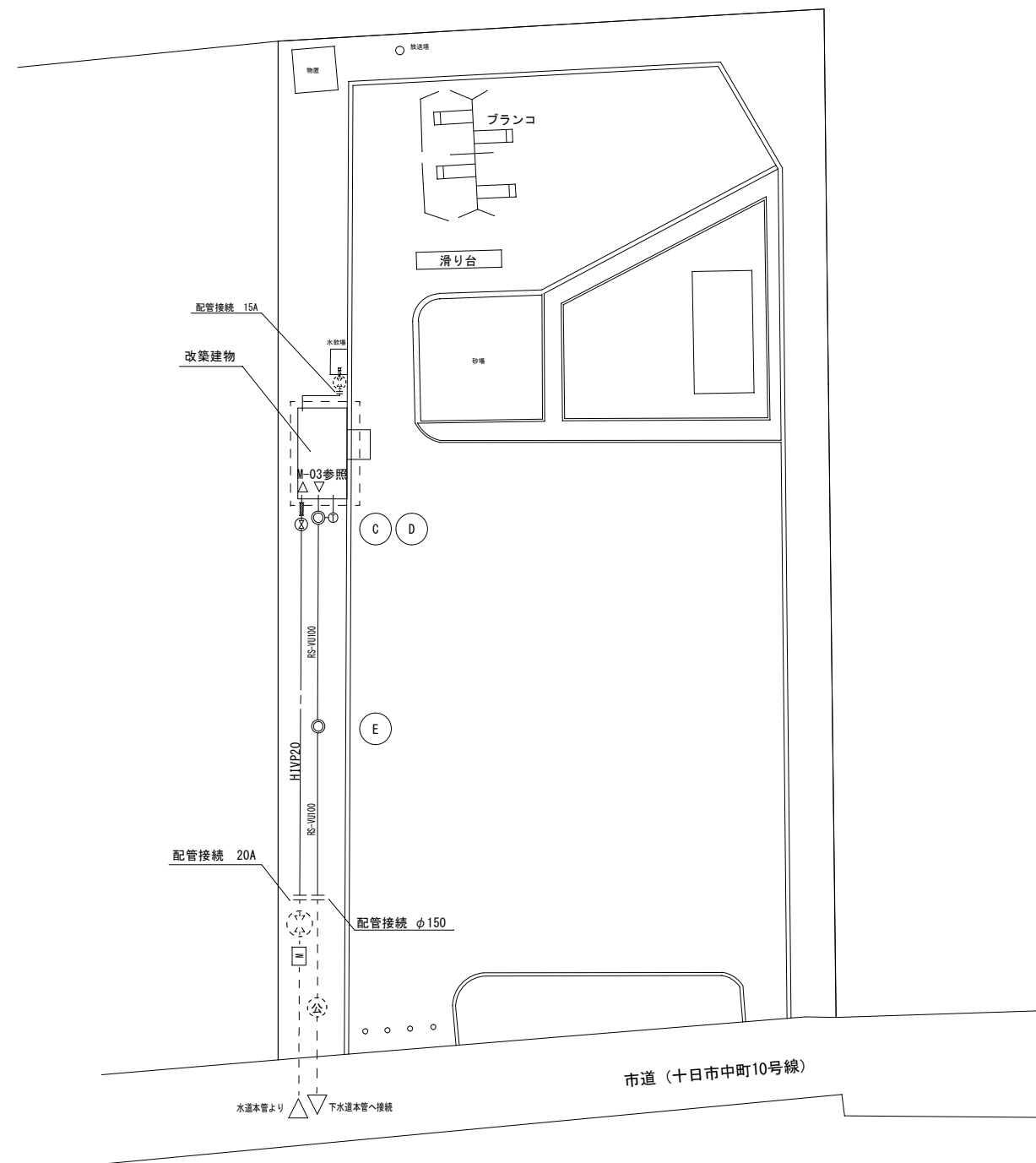
工事名 十日市公園トイレ改築工事
No. M-00
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課
令和8年5月
M-03



屋外給排水設備(改築前) S=1:300

撤去樹リスト				
種類	寸法	備考		
①	コンクリート製インバート樹	360×360×300H	铸铁製蓋	撤去
②	コンクリート製インバート樹	360×360×550H	铸铁製蓋	撤去
④	公共樹	φ300 GL-800	鉄製蓋	残置

----- : 残置給排水管
 ----- : 撤去給排水管

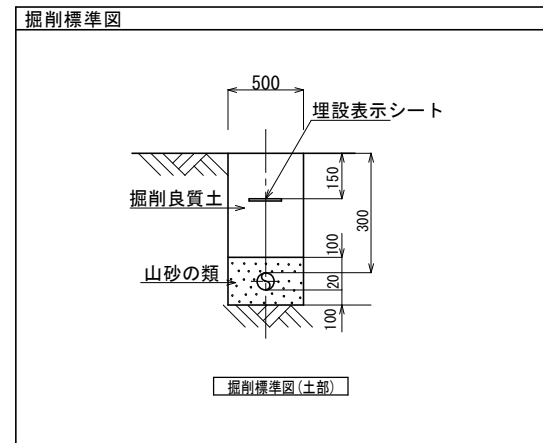
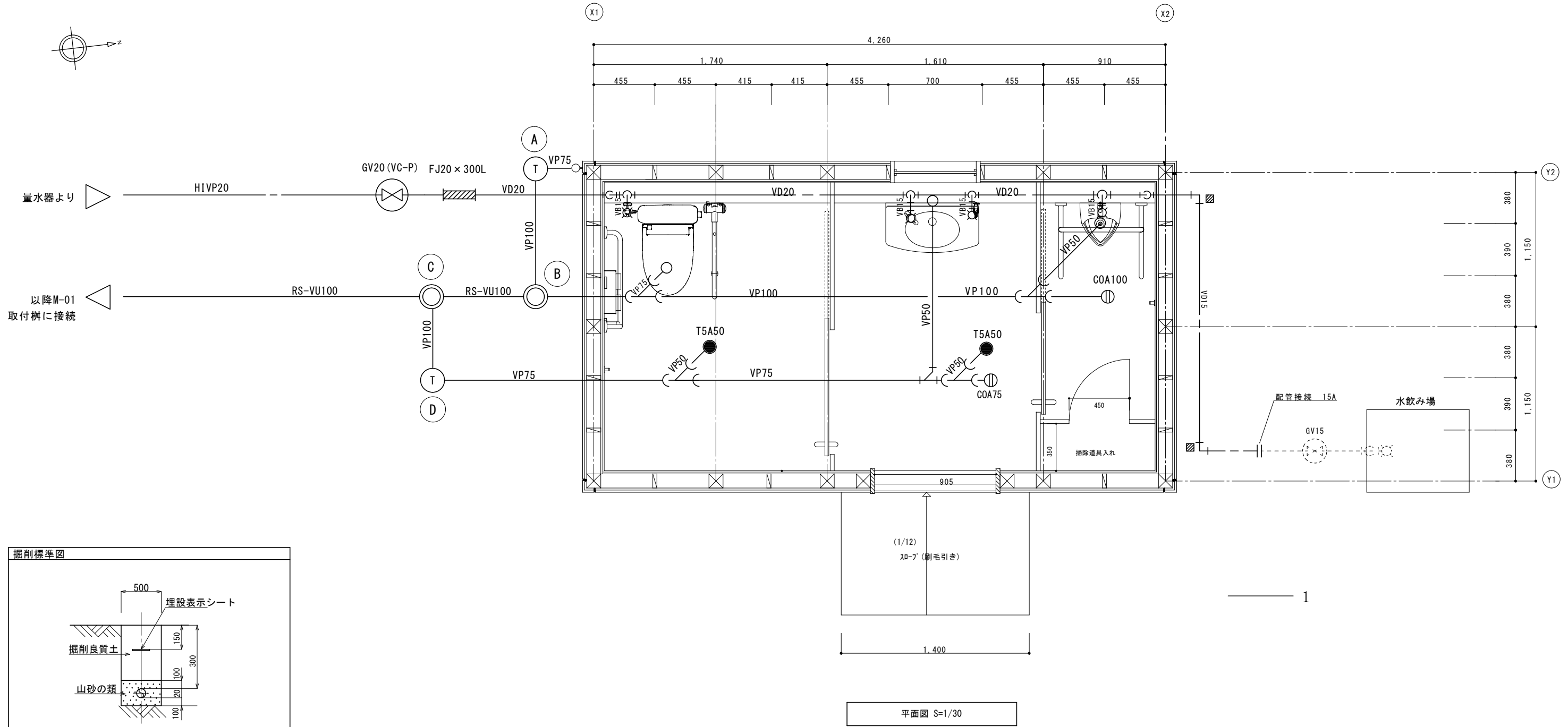


屋外給排水設備(改築後) S=1:300

新設樹リスト				
種類	寸法	管底 (現状GL-)	備考	
⑤	塩ビ製インバート樹	φ150 GL-550	密閉式塩ビ製蓋	新設
④	公共樹	φ300 GL-800	鉄製蓋	残置

----- : 既存給排水管
 ----- : 新設給排水管

工事名	十日市公園トイレ改築工事			No.	
図面名	屋外配管詳細図(改築前・改築後)	縮尺	A3:1/300	M-01	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	M-03
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検閲
					製図

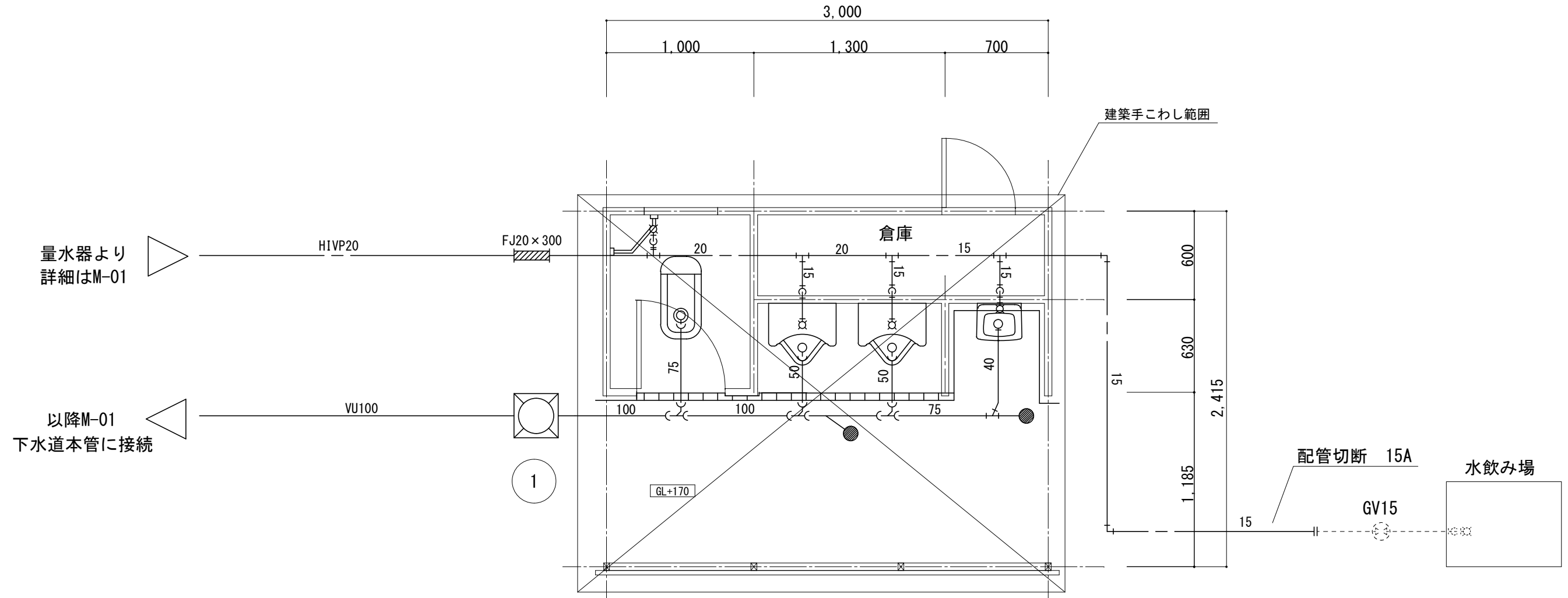
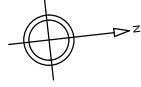


衛生・排水器具リスト			
設置場所	品名	参考品番・仕様	数量
公園便所	洋風大便器	CS597BCS, SH596BAYR, TC301, YH701他付属品一式	1
	壁掛小便器	UFH500, TG600PN, T9R, 他付属品一式	1
	壁掛洗面器	L270D, TL19AR, TLDP2105JA, TL220D, TL4CFU, 他付属品一式	1
	小便器用手摺	T112CU22, 他付属品一式	1
	L型手摺	T112CL10, 他付属品一式	1
	はね上げ手すり	T112HK7R, 他付属品一式	1
	フック	YKH52AR, 他付属品一式	2
	リモコン便器洗浄ユニット	HE35JR, HM10J, その他付属品一式	1
	キー式横水栓	T28AKUH13	1
	床上掃除口	COA75, COA100	1
床排水金物	T5A50	2	

----- : 既存給水管
 _____ : 新設給排水管

樹リスト				
種類	寸法	管底 (現状GL-)	備考	
Ⓐ	ポリプロピレン製トラップ樹	φ300	GL-300	密閉式レジコン蓋 (泥溜め≥150mm) 新設
Ⓑ	塩ビ製インパート樹	φ150	GL-310	密閉式塩ビ製蓋 新設
Ⓒ	塩ビ製インパート樹	φ150	GL-320	密閉式塩ビ製蓋 新設
Ⓓ	ポリプロピレン製トラップ樹	φ300	GL-310	密閉式レジコン蓋 (泥溜め≥150mm) 新設

工事名	十日市公園トイレ改築工事			No.	
図面名	屋内配管詳細図(改築後)	縮尺	A3:1/30	M-02	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年5月	M-03
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検図
					製図



平面図 1/30

撤去機リスト			
種類	寸法	備考	
① コンクリート製インパート機	360×360×300H	鋳鉄製蓋	撤去

----- : 残置給水管
 _____ : 撤去給排水管

工事名	十日市公園トイレ改築工事			No.	
図面名	機械設備撤去図	縮尺	A3:1/30	M-03	
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年5月	M-03
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認
					検図
					製図